

2024年 秋季年会

年会プログラム

於 関西学院大学

2024 年 9 月 11 日（水）～ 9 月 13 日（金）

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2024年 秋季年会プログラム

期 日 2024 年 9 月 11 日 (水) ～ 9 月 13 日 (金)
場 所 関西学院大学神戸三田キャンパス／オンライン
電 話 090 - 4387 - 6893 (学会事務局) <使用期間 2024 年 9 月 10 日 (火)～ 9 月 13 日 (金)>
E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp (年会実行委員会)

月 日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月9日 (月)										理 事 会			
9月10日 (火)						記者会見							
9月11日 (水)	A	受 付	M. 太 陽	昼 休 み 11:40 - 13:00	M. 太 陽		ポスター 15:20 - 16:20	天文教育 フォーラム 16:20 - 17:50					
	B		Q. 星間現象		Q. 星間現象								
	C		S. 活動銀河核		S. 活動銀河核								
	D		P2. 原始惑星系円盤		P2. 原始惑星系円盤								
	E		Y. 教育・広報・他		Y. 教育・広報・他								
	F		V1. 観測機器 (電波)		V1. 観測機器 (電波)								
	G		R. 銀 河		V2. 観測機器(光赤・重)								
	H		Z1. 超小型衛星		Z1. 超小型衛星								
	I		W. コンパクト天体		W. コンパクト天体								
	J		T. 銀河団 / X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化								
9月12日 (木)	A	受 付	M. 太 陽	昼 休 み 11:40 - 13:00	M. 太 陽		ポスター 15:20 - 16:20	会 員 全体集会 16:20-17:20		受賞 記念講演 17:20-18:20			
	B		Q. 星間現象		Q. 星間現象								
	C		P1. 星 形 成		P1. 星 形 成								
	D		P2. 原始惑星系円盤		P3. 惑星系								
	E		N. 恒星・恒星進化		N. 恒星・恒星進化								
	F		V1. 観測機器 (電波)		V1. 観測機器 (電波)								
	G		V2. 観測機器(光赤・重)		V2. 観測機器(光赤・重)								
	H		V3. 観測機器(X線・γ線)		V3. 観測機器(X線・γ線)								
	I		W. コンパクト天体		W. コンパクト天体								
	J		X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化								
9月13日 (金)	A	受 付	U. 宇宙論	昼 休 み 11:40 - 13:00	U. 宇宙論		特別 セッション 15:30 - 17:00						
	B		Q. 星間現象										
	C		P1. 星 形 成		P1. 星 形 成								
	D		P3. 惑星系										
	E		N. 恒星・恒星進化		N. 恒星・恒星進化								
	F		Z2. XRISM		Z2. XRISM								
	G		V2. 観測機器(光赤・重)		V2. 観測機器(光赤・重)								
	H		V3. 観測機器(X線・γ線)		V3. 観測機器(X線・γ線)								
	I		W. コンパクト天体										
	J		X. 銀河形成・進化		X. 銀河形成・進化								
9月14日 (土)						公開講演会							
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

- ・現地の受付は 9:00 から開始します。
- ・セッションの開催時間は午前の部 9:30 ～ 11:40、午後の部 13:00 ～ 15:10 です。
- ・定員が超過した場合は、予備室からオンラインでご参加ください。

A 会 場	: VIII 号 館 3 F - 3 0 1 講 義 室	I 会 場	: VIII 号 館 4 F - 4 0 4 講 義 室
B 会 場	: VIII 号 館 3 F - 3 0 2 講 義 室	J 会 場	: VI 号 館 2 F - 2 0 1 講 義 室
C 会 場	: VIII 号 館 3 F - 3 0 3 講 義 室	K 会 場	: VI 号 館 1 F - 1 0 1 講 義 室
D 会 場	: VIII 号 館 3 F - 3 0 5 講 義 室	予 備 室	: IV 号 館 4 F - 4 0 2 講 義 室
E 会 場	: VIII 号 館 3 F - 3 0 6 講 義 室	受 付	: VIII 号 館 1 F ロビー
F 会 場	: VIII 号 館 4 F - 4 0 1 講 義 室	展 示 コー ナー	: VIII 号 館 1 F ロビー
G 会 場	: VIII 号 館 4 F - 4 0 2 講 義 室	ポ ス タ ー	: 体育館 / オンライン公開
H 会 場	: VIII 号 館 4 F - 4 0 3 講 義 室		

◎講演数

講演数：合計 638

(口頭講演 (a)：512、ポスター講演 (b)：112、ポスター講演 (c)：14)

◎参加申込について（参加希望者は、必ず事前に参加申込をしてください）

2016 年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会 員	非 会 員
参 加 費	正会員学生:2,000 円 (不課税) 正会員一般:5,000 円 (不課税) 準 会 員:5,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
講演登録費	2,000 円 (不課税) (1 講演につき) 但し事前支払がない場合は、会員 3,000 円 / 非会員 6,000 円	5,000 円 (消費税込み・企画セッション)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み) ※購入希望者のみ	

○参加申込受付場所：学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>)

○参加申込受付期間：2024 年 7 月 30 日(火)正午～8 月 27 日(火)正午

※直前参加申込受付期間：9 月 4 日(水)正午～9 月 13 日(金)正午 (会員限定、オンライン参加のみ)

※講演者の方も講演登録費支払期間に参加申込・参加費支払が必要です

※原則として講演登録費・参加費の返金はいたしません

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は現地 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。
ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、
講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター (添字 b、c) はオンライン上で公開します。ポスターは現地での掲示も行います。オンライン公開用にポスターファイルの提出をお願いいたします。提出の締切は9月6日(金)正午です。分野毎に Slack チャンネルをご用意しますので、質疑応答にご活用ください。
3. 口頭講演者 (添字 a、b、r) は原則として現地会場で発表していただきますが、講演登録費支払の際に申請のあった方々についてはオンラインで発表していただきます。
セッション 開始 5 分前から座長が講演方法の説明をいたします。講演者をご参加ください。
また、口頭講演は原則としてご自身の PC を用いて講演いただきます。万一のトラブルに備えて、PDF 形式の講演ファイルもご用意ください。講演方法に関する最新の情報は、ホームページで必ずご確認ください。
4. オンライン聴講者は、セッション開始時刻の 5 分前から Zoom にアクセスいただけます。
また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
視聴者	「氏名」+「(所属)」	天文花子 (天文大学)

5. 講演の実施方法の詳細は、学会ホームページに掲載いたします。事前に講演方法についてよく確認いただいた上で準備を進めていただくようお願いいたします。オンラインで参加される方は、Zoom の操作手順に関する理解を深めていただくようお願いいたします。
6. 受信画像や発表資料の保存 (キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月10日(火)	13:00 ～ 14:30	オンライン	記者会見
9月11日(水)	16:20 ～ 17:50	K 会場 / オンライン	天文教育フォーラム
9月12日(木)	16:20 ～ 17:20	K 会場 / オンライン	会員全体集会
9月12日(木)	17:20 ～ 18:20	K 会場 / オンライン	受賞記念講演（欧文研究報告論文賞）
9月13日(金)	15:30 ～ 17:00	K 会場 / オンライン	特別セッション「みんなで天文学の未来を語ろう！ ～ 日本天文学白書委員会発足 ～」
9月14日(土)	13:00 ～ 15:30	三田キッピーモール 6 階 多目的ホール	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否※
9月9日(月)	16:00 ～ 17:30	オンライン	理事会	D
9月11日(水)	11:50 ～ 12:50	A 会場	太陽研究者連絡会 2024 年度第一回報告会	B
9月11日(水) 9月13日(金)	11:50 ～ 12:50	D 会場	Star Formation Boardgame Project: 天文学普及ボードゲームのテストプレイ	A
9月11日(水)	11:50 ～ 12:50	I 会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
9月12日(木)	11:50 ～ 12:50	現地：関係者に個別連絡 / オンライン	代議員総会	D
9月13日(金)	11:50 ～ 12:50	H 会場	高エネルギー宇宙物理連絡会総会	D

※年会参加者の参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
 B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
 C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
 D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎天文教育フォーラム：「天文教育を支えるエコシステム」

日 時：2024年9月11日（水）16：20～17：50

場 所：K会場（VI号館 1F-101 講義室）/ オンライン（オンライン参加は学会 HP から事前申込が必要。天文教育フォーラムのみ参加の場合、参加費は無料）

概 要：日本の「天文教育」の特徴のひとつは、それを支える豊かな生態系（エコシステム）が構築されている点です。小中高校での学校教育（初等中等教育）、大学での高等教育、公開天文台や科学館、プラネタリウムなどによる社会教育や生涯学習、天文愛好家や星空案内人などによる市民活動など、さまざまな場が存在しています。

そこには特別な中心は存在していませんが、互いに影響を及ぼし合い、全体としてひとつの体系を成しています。このような天文教育を支える生態系は日本各地に存在していますが、木々のような要素ごとに焦点を当てられることが多く、森全体をシステムとして把握する試みはあまりなされていません。今回の天文教育フォーラムでは、関西という地域をひとつのケースとして取り上げ、その生態系がどのように成立しているのかを読み解くとともに、近隣の森との関係やより大きな視点から見たシステムについても議論したいと思います。

話題提供：(1) 吉岡克己（大阪市立科学館）
(2) 中申孝志（甲陽学院中学校・高等学校）
(3) 川村教一（兵庫県立大学）

パネルディスカッション：話題提供者に加え、富田晃彦（和歌山大学）、柴原由果（兵庫県立大学附属中学校）が登壇

実行委員：高梨直紘、玉澤春史、松本佳也、矢治健太郎、日下部展彦、大朝由美子

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎特別セッション：「みんなで天文学の未来を語ろう！ ～ 日本天文学白書委員会発足～」

日 時：2024年9月13日（金）15：30～17：00

場 所：K会場（VI号館 1F-101 講義室）/ オンライン

概 要：観測技術や計算機の発達とともに、天文学はこれまでにない速度で急速に発展し続けています。今後さらに進化し、星や惑星の誕生、銀河やブラックホールの進化、宇宙や生命の起源、極限的な天体現象など、ワクワクする宇宙の謎が我々を待ち受けています。この進化をさらに加速させ、真のブレークスルーを達成するためには、共に夢を語り合い、知識や経験を共有し、多様な視点から議論できるコミュニティを築いていくことが重要です。

そこで、この度「日本天文学白書委員会」が設置されました。この委員会の目的は、日本の将来の天文学や関連する事項について議論し、それを「日本天文学白書」としてまとめることです。また天文学コミュニティ全体での議論や交流を促進するため、年会などで全体集会を開催していくこともこの委員会の任務です。今回はそのキックオフイベントとして、日本天文学白書委員会の趣旨を説明し、基調講演やパネルディスカッションなどを通してさまざまな世代や分野の天文学者に未来の展望や夢を語っていただきます。ぜひご参加ください！

プログラム：1. 日本天文学白書委員会について
2. 基調講演
3. パネルディスカッション

世 話 人：日本天文学白書委員会

赤堀卓也（国立天文台）、石川遼子（国立天文台）、岡本桜子（国立天文台）、
河原創（JAXA 宇宙科学研究所）、高橋慶太郎（熊本大学、委員長）、田中雅臣（東北大学）、
富田賢吾（東北大学）、野田浩司（千葉大学）、野田博文（大阪大学）、米徳大輔（金沢大学）

◎日本天文学会公開講演会

日 時：2024 年 9 月 14 日（土）13：00～15：30（開場 12:30）
形 式：対面
場 所：三田キッピーモール 6 階 多目的ホール（まちづくり協働センター）
住所：〒669-1528 三田市駅前町 2 番 1 号三田駅前一番館
対 象：中学生以上・一般向け
テ ー マ：「南極から探る宇宙の姿」
講師・タイトル：下記をご参照ください。
参 加 費：無料
定 員：200 名（先着順）

<講演内容の紹介>

講演 1：「南極天文台から銀河と宇宙の謎に挑む」

講師：中井直正（関西学院大学 フェロー）

地上最高の天文観測環境にある南極内陸部の高原地帯に新しい基地を作り、口径 12m 高精度電波望遠鏡を設置して遠い宇宙の観測から銀河と巨大ブラックホールの誕生と進化、宇宙の膨張率と宇宙年齢の謎に挑む。

講演 2：「南極の水からひもとく地球と宇宙とのつながり」

講師：望月優子（理化学研究所 仁科加速器科学研究センター 雪氷宇宙科学研究室 室長、埼玉大学大学院 理工学研究科 連携教授）

東南極の内陸に位置する南極高原に、日本南極地域観測隊によって建設された観測基地「ドームふじ」がある。このドームふじ周辺域は、過去から現在にわたって、雪や氷が天体現象の影響を強く受けてきたと考えられる地域である。ドームふじの地下深くの氷を分析すると、雪氷学者らが長らく調べてきた地球の過去の気候変動や火山活動に加えて、過去の太陽活動をも探ることができる。さらには、天の川銀河内で発生した「超新星爆発」と呼ばれる、重い星の一生の最後の爆発の痕跡を捉えることができる可能性もある。本講演では、これらの研究を紹介し、私たちの住む地球と宇宙とのつながりについて考える。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

共 催：関西学院大学

※参加申込方法、及び最新のプログラムにつきましては学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>) をご覧ください。

交通のご案内

■ 主な交通手段と所要時間

神戸三田キャンパス (KSC) までのアクセス

大阪方面から：

【電車】 (約 80 分) JR 大阪駅・新大阪駅 → (JR 宝塚線) → 三田駅・新三田駅 → (神姫バス) → KSC

【飛行機】 (約 80 分) 伊丹空港 → (モノレール) → 蛍池駅 → (阪急電鉄) → JR 宝塚駅 → (宝塚線) → 三田駅・新三田駅 → (神姫バス) → KSC

※ JR 新大阪駅北口、大阪梅田から KSC までのバスもありますが、便数が限られています

三田駅から：【バス】 70、73 系統

新三田駅から：【バス】 11、45、46、48、145 系統

※ 大学が夏休み期間中のため、バスの運行状況にご注意ください

神戸方面から：

【電車・バス】 (70～80 分) 神戸三ノ宮バスターミナル・JR 新神戸駅 → (神姫バス) → KSC

【電車・バス】 (約 70 分) 湊川駅・谷上駅 → (神戸電鉄) → 南ウディタウン駅 → (神姫バス) → KSC

【徒歩】 (30～40 分) 神戸電鉄公園都市線ウディタウン中央駅より

【自動車】 学生駐車場をご利用ください (来客駐車場の利用はご遠慮ください)

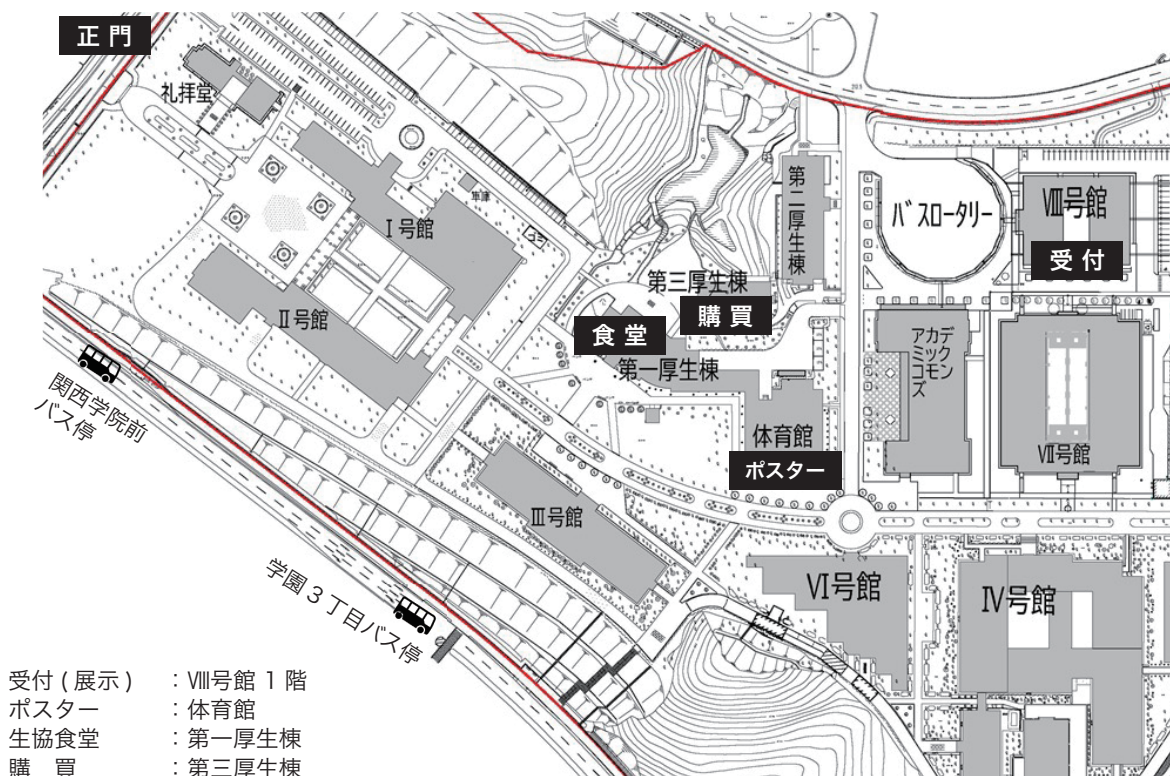
神戸三田キャンパス (KSC) の最寄りのバス停

* 学園 3 丁目：キャンパスまで約 100 段の石段あり

* 関西学院前：正門から入り、遠回りになるが段差なし

* 関西学院大学：キャンパス内のバスロータリー (すべてのバスがここに停車するわけではありません)

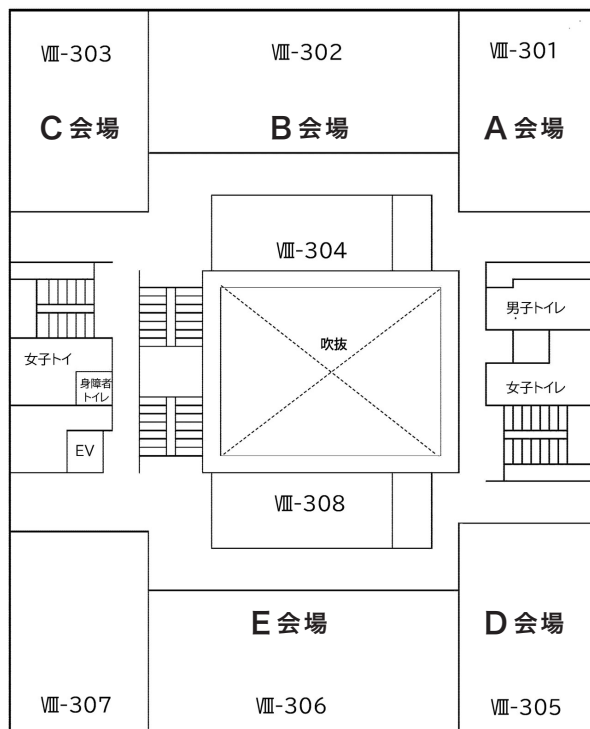
■ 関西学院大学 神戸三田キャンパス キャンパスマップ



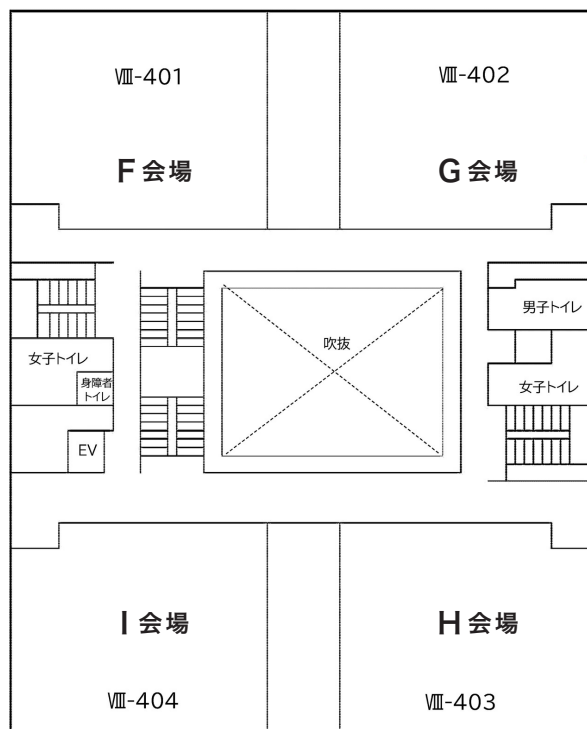
セッション会場のご案内

VIII号館

3 階

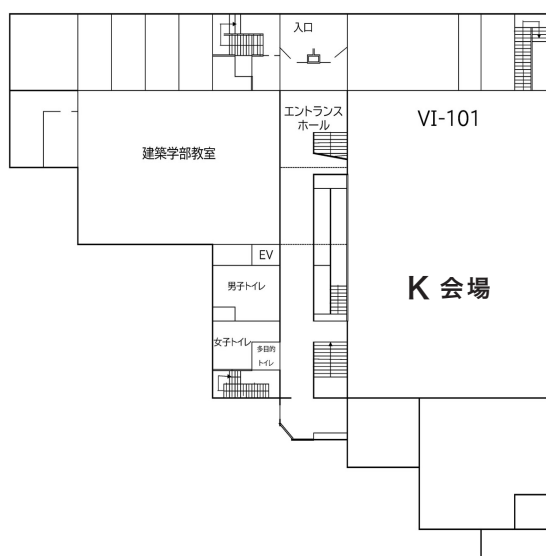


4 階

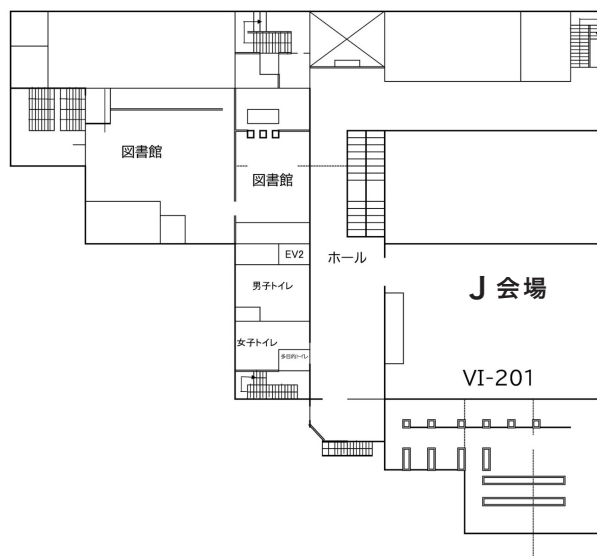


VI号館

1 階

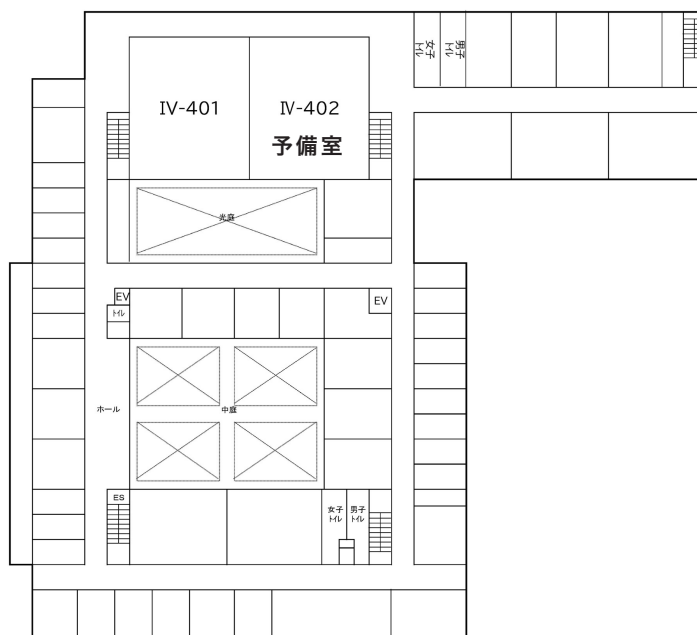


2 階



IV 号館

4 階



- ◎ 来場初日に VIII 号館 1 階にて QR コード受付後、必ず参加証を受け取ってください。
- ◎ 定員が超過した場合は、予備室からオンラインでご参加ください。
- ◎ ポスター会場は体育館です。年会最終日 14 時まで掲示可能です。
- ◎ 構内での飲食は、決められた場所をお願いいたします。
食堂は第一厚生棟 1 階です。
- ◎ 下記の部屋は待機室として利用可能です。
アカデミックcommons 1 階のクレセントラウンジ、アクティブラーニングゾーン
※ただし、飲食は「飲食可能ゾーン」のみをお願いします。

口頭セッション 9月11日(水)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	太 陽	星間現象	活動 銀河核	原始惑星 系円盤	教育・他	観測機器 (電波)	銀 河	超小型 衛星	コンパクト 天体	銀河団/ 銀河形成
9:30	M01a	Q01a	S01a	P201a	Y01a	V101a	R01a	Z101r Z116b	W01a	T01a
9:42	M02a	Q02a	S02a	P202a	Y02a	V102a	R02a		W02a	T02a
9:54	M03a	Q03a	S03a	P203a	Y03a	V103a	R03a		W03a	T03a
10:06	M04a	Q04a	S04a	P204a	Y04a	V104a	R04a		W04a	X01a
10:18	M05a	Q05a	S05a	P205a	Y05a	V105a	R05a		W05a	X02a
10:30	M06a	Q06a	S06a	P206a	Y06a	V106a	R06a		W06a	X03a
10:42	M07a	Q07a	S07a	P207a	Y07b Y08b	V107a	R07a		W07a	X04a
10:54	M08a	Q08a	S08a	P208a	-	V108a	R08a		W08a	X05a
11:06	M09a	-	S09a	P209a	-	V109b V110b V111b	R09a		W09a	X06a
11:18	M10a	-	S10b S11b S12b	P210b P211b	-	V112b V113b	R10a		W10b W11b W12b	X07a
11:30	M11b M12b M13b	-	S13b S14b S15b	-	-	-	R11b R12b R13b		W13b	X08b X09b X10b
11:40	昼休み									
開始時刻	太 陽	星間現象	活動 銀河核	原始惑星 系円盤	教育・他	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	超小型 衛星	コンパクト 天体	銀河形成
13:00	M15a	Q09a	S16a	P212a	Y09a	V114a	V201a	Z117r Z132b	W14a	X11a
13:12	M16a	Q10a	S17a	P213a	Y10a	V115a	V202a		W15a	X12a
13:24	M17a	Q11a	S18a	P214a	Y11a	V116a	V203a		W16a	X13a
13:36	M18a	Q12a	S19a	P215a	Y12a	V117a	V204a		W17a	X14a
13:48	M19a	Q13a	S20a	P216a	Y13a	V118a	V205a		W18a	X15a
14:00	M20a	Q14a	S21a	P217a	Y14a	V119a	V206a		W19a	X16a
14:12	M21a	Q15a	S22a	P218a	Y15b Y16b	V120a	V207a		W20a	X17a
14:24	M22a	Q16a	S23a	P219a	-	V122b V123b V124b	V208a		W21a	X18a
14:36	M23b M24b M25b	Q17b Q18b Q19b	S24a	P220a	-	V125b V126b V127b	V209a		W22a	X19a
14:48	-	-	S25a	P221a	-	V128b V129b V130b	V210b V211b V212b		W23b W24b W25b	X20a
15:00	-	-	S26a	P222b P223b	-	-	-		-	X21b X22b
15:12	-	-	S27a	-	-	-	-	-	-	-
15:20	ポスター									
16:20	天文教育フォーラム									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

口頭セッション 9月12日(木)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	太 陽	星間現象	星形成	原始惑星系円盤	恒星進化	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (X線・γ線)	コンパクト 天体	銀河形成
9:30	M26a	Q21a	P101a	P225a	N01a	V131a	V213a	V301a	W26a	X23a
9:42	M27a	Q22a	P102a	P226a	N02a	V132a	V214a	V302a	W27a	X24a
9:54	M28a	Q23a	P103a	P227a	N03a	V133a	V215a	V303a	W28a	X25a
10:06	M29a	Q24a	P104a	P228a	N04a	V134a	V216a	V304a	W29a	X26a
10:18	M30a	Q25a	P105a	P229a	N05a	V135a	V217a	V305a	W30a	X27a
10:30	M31a	Q26a	P106a	P230a	N06a	V137a	V218a	V306a	W31a	X28a
10:42	M32a	Q27a	P107a	P231a	N07a	V138b V139b V140b	V219a	V307a	W32a	X29a
10:54	M33a	Q28a	P108b P109b P110b	P232a	N08a	V141b V142b V143b	V220b V221b V222b	V308a	W33a	X30a
11:06	M34a	Q29a	P111b P112b P113b	P233a	N09a	-	V224b V225b V226b	V309a	W34a	X31a
11:18	M35a	Q30a	P114b P115b	-	N10b N11b N12b	-	V230b	V310a	W35a	X32a
11:40	昼休み									
開始時刻	太 陽	星間現象	星形成	惑星系	恒星進化	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (X線・γ線)	コンパクト 天体	銀河形成
13:00	M36a	Q31a	P116a	P301a	N13a	V144a	V231a	V311a	W36a	X33a
13:12	M37a	Q32a	P117a	P302a	N14a	V145a	V232a	V312a	W37a	X34a
13:24	M38a	Q33a	P118a	P303a	N15a	V146a	V233a	V313a	W38a	X35a
13:36	M39a	Q34a	P119a	P304a	N16a	V147a	V234a	V314a	W39a	X36a
13:48	M40a	Q35a	P120a	P305a	N17a	V148a	V235a	V315a	W40a	X37a
14:00	M41a	Q36a	P121a	P306a	N18a	V149a	V236a	V316a	W41a	X38a
14:12	M42a	Q37a	P122a	P307a	N19a	V150a	V237a	V317a	W42a	X39a
14:24	M43a	Q38a	P123a	P308a	N20a	V151a	V238a	V318a	W43a	X40a
14:36	M44a	Q39a	P124a	P309b P310b P311b	N21a	V152a	V239b V240b V241b	V319a	W44a	X41a
14:48	M45a	-	P125a	-	-	V153b	V242b V243b	V320a	W45a	X42b X43b
15:00	-	-	-	-	-	-	-	V321b V322b V323b	W46a	-
15:20	ポスター									
16:20	会員全体集会									
17:20	受賞記念講演									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

口頭セッション 9月13日(金)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
開始時刻	宇宙論	星間現象	星形成	惑星系	恒星進化	XRISM	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (X線・γ線)	コンパクト 天体	銀河形成
9:30	U01a	Q40a	P126a	P313a	N22a	Z201a Z210a	V244a	V324a	W48a	X45a
9:42	U02a	Q41a	P127a	P314a	N23a		V245a	V325a	W49a	X46a
9:54	U03a	Q42a	P128a	P315a	N24a		V246a	V326a	W50a	X47a
10:06	U04a	Q43a	P129a	P316a	N25a		V247a	V327a	W51a	X48a
10:18	U05a	Q44a	P130a	P317a	N26a		V248a	V328a	W52a	X49a
10:30	U06a	Q45a	P131a	P318a	N27a		V249a	V329a	W53a	X50a
10:42	U07a	Q46a	P132a	P319a	N28a		V250a	V330a	W54a	X51a
10:54	U08a	Q47a	P133a	P320a	N29a		V251a	V331a	W55a	X52a
11:06	U09a	Q48a	P134a	P321a	N30a		V252a	V332a	W56a	X53a
11:18	U10a	Q49a	P135a	P322a	N31a		V253a	V333a	W57a	X54a
11:30	U11b	-	-	-	N32a		-	V334a	-	-
11:40	昼休み									
開始時刻	宇宙論		星形成		恒星進化	XRISM	観測機器 (光赤・重)	観測機器 (X線・γ線)		銀河形成
13:00	U12a		P136a		N33a	Z211a Z220a	V254a	V335a		X55a
13:12	U13a		P137a		N34a		V255a	V336a		X56a
13:24	U14a		P138a		N35a		V256a	V337a		X57a
13:36	U15a		P139a		N36a		V257a	V338a		X58a
13:48	U16a		P140a		N37a		V258a	V339a		-
14:00	U17a		P141a		N38a		V259a	V340a		-
14:12	U18a		P142a		N39a		-	V341a		-
14:24	U19a		P143a		N40a		-	V342a		-
14:36	U20a		P144a		-		-	-		-
14:48	U21a		-		-		-	-		-
15:00	U22a		-		-		-	-		-
15:12	U23a		-		-	-	-	-		-
15:30	特別セッション									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

ポスターセッション 9月11日(水)、9月12日(木)

【Z1. 超小型衛星】(18) Z106b Z107b Z108b Z111b Z112b Z113b Z114b Z115b Z116b Z121b Z122b Z123b Z125b Z126b Z127b Z130b Z131b Z132b 【Z2. XRISM】(1) Z221c 【M. 太陽】(7) M11b M12b M13b M14c M23b M24b M25b 【N. 恒星・恒星進化】(3) N10b N11b N12b 【P1. 星・惑星形成(星形成)】(8) P108b P109b P110b P111b P112b P113b P114b P115b 【P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)】(5) P210b P211b P222b P223b P224c 【P3. 星・惑星形成(惑星系)】(4) P309b P310b P311b P312c 【Q. 星間現象】(4) Q17b Q18b Q19b Q20c 【R. 銀河】(4) R11b R12b R13b R14c	【S. 活動銀河核】(6) S10b S11b S12b S13b S14b S15b 【U. 宇宙論】(1) U11b 【V1. 観測機器(電波)】(23) V109b V110b V111b V112b V113b V121c V122b V123b V124b V125b V126b V127b V128b V129b V130b V136c V138b V139b V140b V141b V142b V143b V153b 【V2. 観測機器(光赤外・重力波・その他)】(19) V210b V211b V212b V220b V221b V222b V223c V224b V225b V226b V227c V228c V229c V230b V239b V240b V241b V242b V243b 【V3. 観測機器(X線・γ線)】(3) V321b V322b V323b 【W. コンパクト天体】(8) W10b W11b W12b W13b W23b W24b W25b W47c 【X. 銀河形成・進化】(8) X08b X09b X10b X21b X22b X42b X43b X44c 【Y. 天文教育・広報普及・その他】(4) Y07b Y08b Y15b Y16b
---	--

Z1. 超小型衛星

Z1. 超小型衛星活用による天体物理観測の新展開

9 月 11 日（水）午前・H 会場		11:18	Z113b VERTECS: Selection of Observation Fields and Observation Simulation Ojika, Akimasa (Kwansei Gakuin University)
09:30	Z101r 天体観測における超小型衛星の国際動向 金岡充晃（シー・エス・ビー・ジャパン株式会社）	11:30	Z114b 超小型衛星 VERTECS での観測に向けた銀河系内の星積算光の輝度推定 津本明音（関西学院大学）
09:52	Z102r BurstCube: A CubeSat for Gravitational Wave Counterparts Perkins, Jeremy (NASA/GSFC)	11:30	Z115b 超小型衛星 VERTECS での暗黒星雲法達成に必要な観測条件の検証 大原有稀（関西学院大学）
10:06	Z103a 超小型衛星群 CAMELOT によるガンマ線バースト観測 浦田岬（広島大学）	11:30	Z116b VERTECS: Study for Observation of Extragalactic Background Light Fluctuation Tome, Yuto (Kyushu Institute of Technology)
10:18	Z104a X線突発天体監視速報衛星こよう(KOYOH)の打ち上げおよび初期観測報告 澤野達哉（金沢大学）	11:42	質疑応答（10 分）
10:30	Z105a 超小型 X 線衛星 NinjaSat による新天体 SRGA J144459.2-604207 の長期モニタリング観測 武田朋志（理化学研究所/東京理科大学）		
10:42	Z106b 超小型 X 線衛星 NinjaSat の時刻較正とパルサー観測による検証 大田尚享（理化学研究所/東京理科大学）		
10:42	Z107b 超小型 X 線衛星 NinjaSat の運用とパイプラインデータ処理 岩田智子（理化学研究所/東京理科大学）		
10:42	Z108b 超小型 X 線衛星 NinjaSat に搭載した X 線検出器の軌道上での光軸調査 渡部蒼汰（理化学研究所/東京理科大学）		
10:54	Z109a 速報実証衛星 ARICA-2 エンジニアリングモデルの開発および評価 浦壁奈央（青山学院大学）		
11:06	Z110a VERTECS: Science Goal and Observation Plan Takahashi, Aoi（宇宙航空研究開発機構）		
11:18	Z111b VERTECS: 6U CubeSat for observation of visible extragalactic background light Sano, Kei (Kyushu Institute of Technology)		
11:18	Z112b VERTECS: Progress Report on the Development of the Visible Light Telescope Takimoto, Kohji（宇宙航空研究開発機構）		

9 月 11 日 (水) 午後・H 会場		14:36	Z128a	月の水資源探査とシスルナ宙域での天文学・物理学を開拓する MoMoTarO 計画 榎戸輝揚 (京都大学/理化学研究所)
13:00	Z117r			HaloSat and astrophysics small satellite programs supported by NASA Jahoda, Keith (NASA Goddard Space Flight Center)
13:22	Z118r	14:48	Z129a	超小型衛星の高精度編隊飛行による宇宙干渉計 SEIRIOS 松尾太郎 (名古屋大学)
		15:00	Z130b	超小型衛星を用いたスターシェード技術実証ミッション「Euryops」の提案 中村壮児 (総合研究大学院大学)
13:36	Z119a	15:00	Z131b	天文観測衛星「うみつばめ」の開発進捗状況 関響 (東京工業大学)
13:48	Z120a	15:00	Z132b	超短焦点高結像性能 X 線望遠鏡の開発 安福千貴 (名古屋大学)
				宇宙天気現象が与える超小型衛星の高度低下などの影響について 野澤恵 (茨城大学)
14:00	Z121b	15:12		質疑応答 (10 分)
				VERTECS: Electrical Power System and Power Management Nakagawa, Shunsuke (Kyushu Institute of Technology)
14:00	Z122b			VERTECS: Development of the on-board Communication Equipment and Ground Segments Sato, Rin (Kyushu Institute of Technology)
14:00	Z123b			Current Status Report on the Detector for VERTECS Hirose, Yuki (Kwansei Gakuin University)
14:12	Z124a			INSPIRE: MeV Gamma-Ray Detector on a 50-kg Class Satellite Tanaka, Kazuo (Waseda University)
14:24	Z125b			小型衛星 INSPIRE 搭載コンプトンカメラの熱試験及び観測時間の推定 須賀友也 (早稲田大学)
14:24	Z126b			重力波やニュートリノ源の X 線対応天体探査専用キューブサットミッションの検討 坂本貴紀 (青山学院大学)
14:24	Z127b			狭視野半導体コンプトンカメラと符号化マスクで sub-MeV 帯域での 10 分角の角分解能を目指す SGI 計画 中澤知洋 (名古屋大学)

Z2. XRISM

Z2. XRISM 衛星がひらく高エネルギー天文学

9 月 13 日（金）午前・F 会場		9 月 13 日（金）午後・F 会場	
09:30	Z201a X 線分光撮像衛星 XRISM の現状 田代信（埼玉大学/宇宙航空研究開発機構）	13:00	Z211a X 線分光撮像衛星 XRISM による銀河系 中心領域の観測 信川正順（奈良教育大学）
09:40	Z202r XRISM Observations of Galactic Compact and Stellar Objects in Performance Verification Phase 志達めぐみ（愛媛大学）	13:12	Z212r XRISM Observations of Active Galactic Nuclei in Performance Verification Phase Noda, Hirofumi (Tohoku University)
09:58	Z203a Outflow from supercritical accretion flow in the low-mass X-ray binary GX 13+1 都丸亮太（大阪大学）	13:29	Z213a XRISM Observation of Nearby Seyfert 1 Galaxy MCG-6-30-15 小川翔司（宇宙航空研究開発機構）
10:10	Z204a XRISM による大質量 X 線連星 Cyg X-3 の精密分光観測 三浦大貴（東京大学/宇宙航空研究開 発機構）	13:41	Z214a XRISM Observation of Nearby Compton Thick AGN in Circinus Galaxy 上田佳宏（京都大学）
10:22	Z205a XRISM に向けた SS433 の輻射磁気流 体シミュレーション 五十嵐太一（国立天文台/立教大学）	13:53	Z215a XRISM observations of the powerful disk wind quasar PDS 456: 1. Overview and highlights 萩野浩一（東京大学）
10:34	Z206a 相対論的フロー中の熱的・非熱的粒子 による核破砕と UFO・ULX などにおけ るその効果の観測可能性 井上進（千葉大学/東京大学）	14:05	Z216a 輻射流体計算による ultra fast outflow の時間変動の研究～ XRISM での観測 に向けて～ 黒田裕太郎（筑波大学）
10:46	Z207r XRISM Observations of Galactic Diffuse Sources in Performance Verification Phase 内田裕之（京都大学）	14:17	Z217r XRISM observations of galaxy clusters during performance verification phase 佐藤浩介（埼玉大学）
11:04	Z208a XRISM 衛星による超新星残骸 Cassiopeia A 観測とその現状 佐藤寿紀（明治大学）	14:34	Z218a X 線天文衛星 XRISM によるケンタウル ス座銀河団の重元素組成比測定 福島光太郎（宇宙航空研究開発機構）
11:16	Z209a X 線天文衛星 XRISM を用いた超新星残 骸 N132D のプラズマ診断と運動学 鈴木寛大（宇宙航空研究開発機構）	14:46	Z219a XRISM 衛星による Abell2029 銀河団の 初期観測成果 太田直美（奈良女子大学）
11:28	Z210a XRISM 衛星による超新星残骸 W49B 再 結合優勢プラズマの精密 X 線分光 澤田真理（立教大学）	14:58	Z220a 銀河系矮小銀河 XRISM 分光観測で挑 むダークマター X 線輝線探査 林航平（仙台高等専門学校）
11:40	質疑応答（10 分）		Z221c Resolve 精密分光で迫る恒星巨大フレア 現象 栗原明稀（東京大学/宇宙航空研究開発 機構）
		15:10	質疑応答（10 分）

M. 太陽

9 月 11 日（水）午前・A 会場		11:30	M13b	国立天文台の黒点スケッチを用いた活動経度の調査 山口慎太郎（茨城大学）
09:30	M01a			RS CVn 型連星 IM Peg における Fe XXV He α 輝線の高速な青方偏移 井上峻（京都大学）
09:42	M02a		M14c	太陽メートル波帯 II 型電波バーストのスペクトル微細構造の特徴 -II 三澤浩昭（東北大学）
		11:42		質疑応答（10 分）
09:54	M03a	9 月 11 日（水）午後・A 会場		
		13:00	M15a	活動領域 NOAA13664 の磁場構造解析とフレア発生予測について 草野完也（名古屋大学）
10:06	M04a	13:12	M16a	2024 年 5 月に X クラスフレアを連発した活動領域について 塩田大幸（情報通信研究機構）
		13:24	M17a	2024 年 5 月上旬に発生した CME 群の惑星間空間シンチレーション観測 岩井一正（名古屋大学）
10:18	M05a	13:36	M18a	活動領域磁場構造に注目した CME 発生条件の研究 森山智生（名古屋大学）
10:30	M06a	13:48	M19a	2024 年 5 月大規模太陽フレアに伴う太陽電波バースト観測と CME 速度導出 西塚直人（情報通信研究機構）
10:42	M07a	14:00	M20a	2012 年 3 月 7 日の太陽フレア・CME に付随する持続的ガンマ線放射 (SGRE) イベントに関する研究 増田智（名古屋大学）
10:54	M08a	14:12	M21a	太陽における水素ライマン線の放射変動とその地球電離圏への影響 大窪遼介（防衛大学校）
11:06	M09a	14:24	M22a	同時代のアナログ記録に基づく 1956 年 2 月の太陽高エネルギー粒子嵐の改訂 早川尚志（名古屋大学）
11:18	M10a	14:36	M23b	新しい磁気リコネクションモデルの太陽 - 地球系での観測的検証（続） 新田伸也（筑波技術大学）
11:30	M11b	14:36	M24b	フォーブッシュ減少の多点比較で迫る ICME の時空間発展に関する研究 木下岳（東京大学）
11:30	M12b			

M. 太陽

14:36	M25b	XRISMによる太陽フレアの地球大気反射 X線の観測 鈴木寛大(宇宙航空研究開発機構)	9月12日(木)午後・A会場	
14:48		質疑応答(10分)	13:00	M36a 3次元輻射磁気流体計算による多様な 太陽風の再現実験 飯島陽久(名古屋大学)
9月12日(木)午前・A会場			13:12	M37a 非線形過程に注目した円偏光アルフベン 波の減衰不安定性に関する数値研究 鈴木嘉也(名古屋大学)
09:30	M26a	SUNRISE-3大気球太陽観測実験:2024 年フライト結果 久保雅仁(国立天文台)	13:24	M38a 活動領域磁場拡散に伴う太陽黒点周り のオープンフラックスの発展 吉田南(東京大学)
09:42	M27a	ALMAによる100GHz太陽偏波観測 下条圭美(国立天文台)	13:36	M39a 太陽極域におけるリム付近での平均磁 束密度の過小評価について 藤森愛梨沙(東京大学)
09:54	M28a	ALPACA実験8:太陽からのコロナ質量 放出(2024年5月9日9時24分(UTC)) に伴うALPAQUITAアレイで観測された宇 宙線頻度変化 瀧田正人(東京大学)	13:48	M40a 現実的な太陽浮上磁場計算における初 期ねじれ強度に対する依存性の調査 島海森(宇宙航空研究開発機構)
10:06	M29a	日米共同・太陽フレアX線集光撮像分 光観測ロケット実験FOXSI-4の観測初 期成果 成影典之(国立天文台)	14:00	M41a 熱対流を含めた太陽対流層内での磁束 管浮上のシミュレーション研究 吉川航輝(名古屋大学)
10:18	M30a	太陽X線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-3が観測したフィラメント噴出領域 の詳細温度解析 廣瀬維士(総合研究大学院大学)	14:12	M42a On sunspot penumbra and Evershed flow: II. Analysis and interpretation 堀田英之(名古屋大学)
10:30	M31a	太陽フレアにおけるプラズモイド不安定 型リコネクションの観測的検証 広瀬暖菜(東京大学)	14:24	M43a 機械学習を用いた太陽内部推定手法の 日震学との比較 正木寛之(千葉大学)
10:42	M32a	連結階層シミュレーションを用いたカレン トシートの微視的不安定性の検証 芥川慧大(東京大学)	14:36	M44a 非線形平均場ダイナモモデルによる太陽 型星磁場生成の自転率依存性の解析 島田遼太(京都大学)
10:54	M33a	コロナ質量放出(CMEs)に伴うプラズマ 流温度・速度の高度依存性 平岡勇人(東京大学)	14:48	M45a 太陽大気中の磁束管における電磁運動 量保存則 柴崎清登(太陽物理学研究所)
11:06	M34a	Pseudostreamerの1次元数値シミュレー ションと経験則の構築 戸頃響吾(東京大学)	15:00	質疑応答(10分)
11:18	M35a	活動領域の端で観測されるプラズマ上昇 流と低速太陽風の関係 森島啓太(名古屋大学)		
11:30		質疑応答(10分)		

N. 恒星・恒星進化

9 月 12 日 (木) 午前・E 会場		9 月 12 日 (木) 午後・E 会場	
09:30	N01a Tomo-e Gozen による T Tauri 型星の短時間変動の検出 根津正大 (東京大学)	13:00	N13a 水素輝線等価幅とバルマー通減率のモニタリングから探る Be 星の円盤構造 II 石田光宏 (横浜市立戸塚高等学校)
09:42	N02a TriCCS 分光モードを用いた恒星フレアの高速分光観測 前原裕之 (国立天文台)	13:12	N14a Wind-disk interaction in single and binary Be stars 岡崎敦男 (北海学園大学)
09:54	N03a 測光分光同時観測で迫る M 型星フレア可視連続光の短時間での時間発展 市原晋之介 (京都大学)	13:24	N15a Possible anti-correlations between pulsation amplitudes and the disk growth of Be stars in giant-outbursting Be X-ray binaries 庭野聖史 (東京工業大学)
10:06	N04a XMM-Newton を用いた A 型主系列星の系統的 X 線分光 / 測光解析 (2) 中澤皓太 (名古屋大学)	13:36	N16a X線バースト天体 SRGA J144459.2-604207 から推定される連星進化への示唆 土肥明 (理化学研究所)
10:18	N05a XRISM and CHAO observations of HR1099 長島汀 (中央大学)	13:48	N17a Evolutionary models for the Very Massive Stars in the R136 cluster of 30 Doradus in the LMC Keszthelyi, Zsolt (NAOJ)
10:30	N06a 非常に長い変光周期を持つ OH/IR 星の周期光度関係の示唆 中川亜紀治 (鹿児島大学)	14:00	N18a X-ray Spectral Structure around the Fe XXV lines of Eta Carinae observed with the X-Ray Imaging and Spectroscopy Mission (XRISM) Miyamoto, Asca (Tokyo Metropolitan University)
10:42	N07a 炭素星ミステリーと後期 AGB 星の外層構造 浦郷陸 (アストロバイオロジーセンター)	14:12	N19a X 線分光撮像衛星 XRISM による超新星残骸 Cassiopeia A における希少元素の探索 松永海 (京都大学)
10:54	N08a 長周期変光星周 SiO メーザーの VLBI モニター観測で探る星周物質の加速機構 甘田溪 (鹿児島大学)	14:24	N20a 一次元恒星進化シミュレーションを用いた Ia 型超新星 Kepler の伴星推定 穴澤萌衣 (京都大学)
11:06	N09a RY Dra からの磁気駆動風と SiC ダスト 保田悠紀 (北海道大学)	14:36	N21a 白色矮星を残した超新星爆発 SN 1181 の残骸からの電波放射とその観測提案 黄天鋭 (東京大学)
11:18	N10b りゅう座 BY 型星 V1402 Ori の高分散分光観測データの解析 戸田俊光 (岡山理科大学)	14:48	質疑応答 (10 分)
11:18	N11b 炭素星 CIT 6 に向けた 30 - 50 GHz ラインサーベイ 中村文隆 (国立天文台)		
11:18	N12b 磁気活動性の高い K 型星 PW And の H α 線と近赤外 CaII 三重輝線での分光観測 永田晴飛 (兵庫県立大学)		
11:30	質疑応答 (10 分)		

9 月 13 日（金）午前・E 会場		9 月 13 日（金）午後・E 会場	
09:30	N22a 超新星の爆発直前の活動について MeV/GeV/TeV ニュートリノを用いた診断 方法の提案 澤田涼（東京大学）	13:00	N33a 超新星スペクトルに現れるヘリウム吸収 線の Non-LTE 計算 千葉公哉（東北大学）
09:42	N23a 重力崩壊型超新星のニュートリノ放射の 非等方性について 中村航（福岡大学）	13:12	N34a 密度がー様な CSM との相互作用により 輝く超新星の光度曲線 千葉遼太郎（国立天文台/総合研究大 学院大学）
09:54	N24a ニュートリノ輻射輸送の解像度依存性 伊藤侃（早稲田大学）	13:24	N35a 1m 望遠鏡 /kSIRIUS で捉えられた Ibn/ Icn 型超新星 SN 2023xgo の赤外超過 山中雅之（鹿児島大学）
10:06	N25a 超新星ニュートリノの定量解析を用いた 超新星までの距離推定法 諏訪雄大（東京大学）	13:36	N36a 日本および韓国 VLBI 観測網による SN 2023ixf の電波フォローアップ観測 岩田悠平（国立天文台）
10:18	N26a スーパーカミオカンデにおける 10 Mpc 以内の超新星爆発由来のニュートリノイ ベント探索 中西史美（岡山大学）	13:48	N37a 青色超巨星の爆発の多様性 守屋堯（国立天文台）
10:30	N27a 一般相対論的ボルツマン輻射流体コー ドによる重力崩壊型超新星爆発計算 赤穂龍一郎（早稲田大学）	14:00	N38a 散開星団における Gaia BH・Gaia NS の 力学的捕獲による形成 谷川衝（福井県立大学）
10:42	N28a 遠心力による変形を考慮した高速回転 する白色矮星の進化 小形美沙（早稲田大学）	14:12	N39a 新たな Li 過剰金属欠乏星の発見とその 詳細な組成パターンの測定 松野允郁（ハイデルベルク大学）
10:54	N29a 高速自転小質量星の磁気制動抑制の 可能性 徳野鷹人（東京大学）	14:24	N40a すばる望遠鏡による極超金属欠乏星の 観測 須田拓馬（東京工科大学）
11:06	N30a 超新星爆発フォールバック計算のため の新手法開発 篠田兼伍（東京大学）	14:36	質疑応答（10 分）
11:18	N31a 円盤状星周物質と相互作用する II 型超 新星の 2 次元輻射流体力学シミュレ ーション 鈴木昭宏（東京大学）		
11:30	N32a 球対称降着流における熱核反応の役割 II - ヘリウム降着 茂山俊和（東京大学）		
11:42	質疑応答（10 分）		

P1. 星・惑星形成(星形成)

9月12日(木) 午前・C会場		11:06	P113b	山口干渉計を用いた赤外線暗黒星雲中の大質量原始星ジェット探査の現状 元木業人(山口大学)
09:30	P101a			小マゼラン銀河における大質量星を多く含む星団の初期質量関数の推定 中野覚矢(名古屋大学)
09:42	P102a	11:18	P114b	リチウムの存在度に基づく若い星団の年齢の推定 水本拓走(兵庫県立大学)
				ガス雲衝突による大質量星団の形成: 質量収束機構と大質量の起源 福井康雄(名古屋大学)
09:54	P103a	11:18	P115b	ペルセウス座分子雲 Barnard 1 領域における若い超低質量天体の近赤外測光探査 小柳香(埼玉大学)
				NGC 1333 における分子雲衝突に誘発されたフィラメント形成(2) 伊藤拓冬(名古屋大学)
10:06	P104a	11:30		質疑応答(10分)
				かなた望遠鏡可視偏光サーベイ:Sagittarius 銀河腕中の3次元磁場構造(III) 城壮一郎(東京大学)
10:18	P105a			かなた望遠鏡可視偏光サーベイ:大質量星形成領域 W33 方向の磁場構造 土井靖生(東京大学)
10:30	P106a			かなた望遠鏡可視偏光サーベイ:MBM 37 の星無しコア周縁部の磁場構造 堀友哉(広島大学)
10:42	P107a			かなた望遠鏡可視偏光サーベイ:若い星団 NGC 6910 内の磁場構造とダストサイズ 丸田哲温(広島大学)
10:54	P108b			ハブ-フィラメント系の形成・進化過程解明に向けた輻射磁気流体シミュレーション 安部大晟(東北大学)
10:54	P109b			銀河系外縁部にある Sh2-283 分子雲に対する CO 同位体輝線観測 百瀬宗武(茨城大学)
10:54	P110b			磁場と乱流が First core に与える影響 坂元優一(鹿児島大学)
11:06	P111b			大質量原始星アウトフローにおける CO 分子の紫外線解離の金属量依存性 小嶋一生(東京工業大学)
11:06	P112b			星形成初期段階における交換型不安定性による磁束輸送現象の探究(3): ALMA による分子雲コアに埋もれた 10au 原始星円盤から伸びた棘構造の検出 徳田一起(九州大学/国立天文台)

9 月 12 日（木）午後・C 会場		9 月 13 日（金）午前・C 会場	
13:00	P116a 野辺山 45m 電波望遠鏡に搭載された eQ 受信機による Serpens South クラスター領域内の星なし分子雲コアのラインサーベイ観測 谷口琴美（国立天文台）	09:30	P126a 形成中の球状星団での中間質量ブラックホール形成 藤井通子（東京大学）
13:12	P117a 野辺山 45m 鏡 受信機 7BEE を用いた巨大分子雲 W3 における重水素化分子の観測 宮戸健（電気通信大学）	09:42	P127a トレーサー粒子を実装した 3 次元流体力学数値計算に基づく星形成分子雲コアの同定とその時間発展 野崎信吾（九州大学）
13:24	P118a 野辺山 45m 望遠鏡による Spitzer Bubble の多輝線観測 高山楓葉（名古屋大学）	09:54	P128a 宇宙初期環境における HI ガス衝突による大質量星団形成 前田龍之介（東北大学）
13:36	P119a 機械学習を用いた分子輝線データによるダスト温度予測モデルの構築 堂込天太（鹿児島大学）	10:06	P129a JWST で探る銀河系最外縁部における星生成 泉奈都子（岐阜大学/国立天文台）
13:48	P120a フィラメント・フィラメント衝突とハブの形成 富阪幸治（国立天文台）	10:18	P130a 磁場とその散逸を考慮した低金属量環境下における星形成 村社伊樹（九州大学）
14:00	P121a 磁場に貫かれたフィラメント状分子雲同士との衝突進化シミュレーション III. 直交衝突により形成された圧縮雲の不安定条件 柏木頼我（国立天文台）	10:30	P131a サブミリ波観測で探る IC1396A グロビュール内の磁場と星形成 和田羅文（鹿児島大学）
14:12	P122a 降着とコア・フィラメント衝突：Per-emb-2 におけるストリーマー形成への示唆 吉野碧斗（東京大学）	10:42	P132a 星の固有運動から探る誘発的星形成のメカニズム 深谷直史（名古屋大学）
14:24	P123a 低金属量銀河小マゼラン雲における大質量原始星の ALMA 観測 (3): 原始星に付随するフィラメント状分子雲普遍性の検証 國年悠里（大阪公立大学）	10:54	P133a ALMA 望遠鏡を用いた大マゼラン雲における大質量星原始星に付随する分子ガス・電離ガスの観測的研究 安達大揮（大阪公立大学）
14:36	P124a アンテナ銀河における巨大分子雲の Type 分類と進化描像 出町史夏（名古屋大学）	11:06	P134a 天の川銀河外縁部における原始星アウトフロー及びジェットの検出 池田達紀（新潟大学）
14:48	P125a Signs of the global and local infall in a 70 μm dark massive clump 森井嘉穂（東京大学）	11:18	P135a 磁化した乱流分子雲コアの磁場と角運動量の向きの違いが単極アウトフロー駆動に与える影響 高石大輔（鹿児島大学）
15:00	質疑応答 (10 分)	11:30	質疑応答 (10 分)

P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)

9 月 13 日 (金) 午後・C 会場		9 月 11 日 (水) 午前・D 会場	
13:00	P136a 若い原始星天体 IRAS 15398-3359 の形成進化が周囲に与える複雑な影響 大小田結貴 (理化学研究所)	09:30	P201a 対流的な原始星に接続する原始惑星系円盤での角運動量輸送 高棹真介 (大阪大学)
13:12	P137a IRAS15398-3359 からのアウトフローに見られる Shell 構造の成因 花輪知幸 (千葉大学)	09:42	P202a 原始惑星系円盤の大局的非理想磁気流体力学シミュレーション: 上面と下面で密度非対称な円盤風 森昇志 (清華大学)
13:24	P138a 星形成初期段階における個々のダスト粒子の軌道および成長過程 原田直人 (東京大学)	09:54	P203a 解析的アウトフローモデルを用いた原始星アウトフロー中でのダスト運動の研究 内村迅渡 (鹿児島大学)
13:36	P139a Chemical layered structures and the ionisation rates in the disk around a low-mass Class 0 protostar NGC 1333 IRAS 4C: FAUST 野津翔太 (東京大学)	10:06	P204a CO 分子輝線の圧力広がりウィングを用いた円盤ガス面密度分布の制約: HD 169142 円盤 吉田有宏 (総合研究大学院大学/国立天文台)
13:48	P140a 実験室分子分光に基づく V883 Orionis におけるメタノール分子の重水素濃集度の導出とその起源 坂井南美 (理化学研究所)	10:18	P205a 原始惑星系円盤の赤道面における非軸対称成分探査: 手法の提案 逢澤正嵩 (茨城大学)
14:00	P141a Hot Core におけるメタノール分子存在量評価に向けた $\text{CH}_3^{17}\text{OH}$ 分子のミリ波周波数帯実験室分光測定 小山貴裕 (理化学研究所)	10:30	P206a IRS 48 周囲の原始惑星系円盤における傾いた内側円盤の存在の示唆 武藤恭之 (工学院大学)
14:12	P142a Orion KL 領域における $\text{CH}_3^{17}\text{OH}$ の検出 渡邊祥正 (芝浦工業大学)	10:42	P207a ホール効果が原始惑星系円盤のデッドゾーン内側境界近傍の構造に与える影響 岩崎一成 (国立天文台)
14:24	P143a ALMA を用いた大質量星形成領域 G351.77-0.54 に対する複雑な有機分子輝線の観測 小松野蒼 (電気通信大学)	10:54	P208a 円盤の見え方: 散乱を考慮した円盤放射の解析解 田中圭 (東京工業大学)
14:36	P144a 原始星降着進化モデルの検証 高橋亘 (国立天文台)	11:06	P209a 観測モデルによる大質量原始星円盤における岩石ダスト成長の制約 山室良太 (東京工業大学)
14:48	質疑応答 (10 分)	11:18	P210b 鉛直シア不安定性乱流に対する冷却率の時空間進化の影響 福原優弥 (東京工業大学)
		11:18	P211b 原始惑星系円盤の ALMA 偏光データの多天体解析による偏光機構の解明 北出直也 (総合研究大学院大学/国立天文台)
		11:30	質疑応答 (10 分)

9 月 11 日 (水) 午後・D 会場			
13:00	P212a 影から探る円盤鉛直構造とダスト進化 (I): 近赤外線・サブミリ波の高空間分解能観測を利用した円盤冷却時間測定 折原龍太 (茨城大学)	15:12	P224c ダストアグリゲイトの衝突結果に物性の違いが与える影響 長谷川幸彦 (東北大学) 質疑応答 (10 分)
13:12	P213a 影から探る円盤鉛直構造とダスト進化 (II): 測定された冷却時間と整合的なダスト分布・乱流強度の理論的推定 福原優弥 (東京工業大学)	9 月 12 日 (木) 午前・D 会場	
13:24	P214a 粘性降着円盤のダストの保温効果が駆動するダスト濃集 加藤遼 (東京工業大学)	09:30	P225a 1 次元永年円盤進化計算によるガスリッチデブリ円盤の起源の解明 大山航 (京都大学)
13:36	P215a 原始惑星系円盤のストリーミング不安定性が駆動する乱流中のダスト成長 富永遼佑 (東京工業大学)	09:42	P226a ガスリッチデブリ円盤の起源に関する新モデル: 遅延円盤散逸モデル 仲谷峻平 (NASA Jet Propulsion Laboratory/California Institute of Technology/理化学研究所)
13:48	P216a ダストと円盤の共進化過程 II: 解析的計算に基づく円盤構造の進化 塚本裕介 (鹿児島大学)	09:54	P227a 乱流状態にある原始惑星系円盤での複雑有機分子の化学進化 鈴木大輝 (東京大学)
14:00	P217a 圧縮ダストアグリゲイトの衝突シミュレーション: 付着・跳ね返り境界条件の推定 大城榛音 (東京工業大学)	10:06	P228a 原始惑星系円盤における C_2H の重水素化合物の観測 大和義英 (東京大学)
14:12	P218a 星間ダストを模した浮遊マイクロ粒子の付着・成長実験: 初期実験結果 I 大橋聡史 (国立天文台)	10:18	P229a 円盤鉛直方向の温度構造が太陽系の固体炭素分布に与える影響 岡本珠実 (東京工業大学)
14:24	P219a 磁気降着円盤における岩石惑星への水輸送: ダスト・温度共進化の影響 近藤克 (東京工業大学)	10:30	P230a すばる望遠鏡 IRCS による AB Aur の原始惑星系円盤に対する水氷観測 工藤智幸 (国立天文台)
14:36	P220a スノーラインを通過する氷ダストアグリゲイトは分裂するか? 城野信一 (名古屋大学)	10:42	P231a TW Hya のコロナ XUV 放射モデル 庄田宗人 (東京大学)
14:48	P221a 周惑星円盤のダスト連続波放射観測による惑星 PDS70b 及び c の特性の制約 芝池諭人 (国立天文台)	10:54	P232a 前主系列星フレアによる円盤電離状態への影響 鷲ノ上遥香 (大阪大学)
15:00	P222b 原始惑星系円盤への外部輻射の影響 松本凜 (筑波大学)	11:06	P233a 短周期系外惑星大気における窒素と硫黄の同時濃集: 塩の熱解離の影響 中澤風音 (東京工業大学)
15:00	P223b Lightning Generation by Streaming Instability in Protoplanetary Disks Han, Fang (Tokyo Institute of Technology)	11:18	質疑応答 (10 分)

P3. 星・惑星形成(惑星系)

9月12日(木)午後・D会場			
13:00	P301a 高空間分解撮像を用いた重力マイクロレンズ惑星系 OGLE-2014-BLG-0676L の質量測定 出射旭(大阪大学)	14:48	P312c マイクロレンズ系外惑星探査による惑星存在頻度の主星質量依存性の測定 布田寛介(大阪大学) 質疑応答(10分)
13:12	P302a 高空間分解能画像を用いた重力マイクロレンズ惑星候補イベント OGLE-2014-BLG-1367L の解析 永井堤(大阪大学)	9月13日(金)午前・D会場	
13:24	P303a MOA-2020-BLG-108Lb : 晩期型星の雪線以遠を周回する巨大惑星 佐藤佑樹(関東学院大学)	09:30	P313a 実視連星系と単星系における惑星存在頻度の比較 布田寛介(大阪大学)
13:36	P304a MOA-II マイクロレンズ惑星探査における惑星シグナルの自動検出アルゴリズムの開発と新惑星候補天体の解析 西尾菜優(大阪大学)	09:42	P314a 高分散分光による褐色矮星連星 Luhman16AB のキャラクタリゼーション 山響(大阪大学)
13:48	P305a The JWST/NIRCam Coronagraphic Observations of the HD 163296 System 鵜山太智(California State University Northridge/Astrobiology Center)	09:54	P315a 熱対流問題のための SPH 法シミュレーションコードの開発 高橋航(名古屋大学)
14:00	P306a JWST による高温系外ガス惑星 WASP-69b の熱放射光スペクトル観測: 大気金属量、熱輸送、そして雲組成への示唆 大野和正(国立天文台)	10:06	P316a X線天文衛星「すざく」の昼地球観測データを用いた地球超高層大気の長期変動調査 山脇鷹也(埼玉大学)
14:12	P307a 可視光近赤外線トランジット観測による Qatar-1 b の天気の変化の検出 平野佑弥(兵庫県立大学)	10:18	P317a 公転周期が1年に近い小惑星の軌道運動 吉川真(宇宙航空研究開発機構)
14:24	P308a 太陽近傍 M 型星 Gliese 12 を公転する大気分光に適した地球サイズ惑星の発見 葛原昌幸(アストロバイオロジーセンター)	10:30	P318a COIAS による太陽系小天体の探索状況 浦川聖太郎(日本スペースガード協会)
14:36	P309b 非等方的熱物理モデルによる 1 Ceres の物性パラメータ探索 高橋茂(東京大学)	10:42	P319a 太陽系外縁天体による恒星掩蔽観測キャンペーン TABASCO の初期成果 有松亘(京都大学)
14:36	P310b 宇宙研 1.3m 望遠鏡の再開発プロジェクト SURF と大学共同利用公募について 宮川浩平(宇宙航空研究開発機構)	10:54	P320a 天保年間におけるアンドロメダ座流星群の古記録の発見 渡部潤一(国立天文台)
14:36	P311b 自動微分可能な重力マイクロレンズモデル microJAX の開発 宮崎翔太(宇宙航空研究開発機構)	11:06	P321a アルマアーカイブの悉皆解析による、タイタン大気におけるシアノジアセチレン(HC ₅ N)分子の徹底探索 飯野孝浩(東京大学)
		11:18	P322a OSIRIS-Rex サンプルリターンカプセルの再突入に伴う超低周波電波放射の観測 渡邊堯(情報通信研究機構)
		11:30	質疑応答(10分)

Q. 星間現象

Q. 星間現象

9 月 11 日（水）午前・B 会場		9 月 11 日（水）午後・B 会場	
09:30	Q01a 超新星残骸の精密 X 線分光へ向けた小型電子ビームイオントラップ (EBIT) と放射光施設 SPring-8 による多価イオン精密分光実験 天野雄輝 (宇宙航空研究開発機構)	13:00	Q09a XRISM 衛星によるティコの超新星残骸の観測 田中孝明 (甲南大学)
09:42	Q02a 超新星残骸からの電荷交換反応 X 線放射の XRISM による検出可能性調査 佐藤愛 (埼玉大学)	13:12	Q10a Tycho's SNR の星周環境モデルの構築 2: 非熱的放射スペクトルの再現性 小橋亮介 (京都大学)
09:54	Q03a 超新星残骸に見られる O VII He α の禁制線 / 共鳴線強度比異常の原因調査 勝田哲 (埼玉大学)	13:24	Q11a ガンマ線超新星残骸 W41 と G22.7-0.2 に付随する分子雲と宇宙線加速 村瀬建 (岐阜大学)
10:06	Q04a XRISM 衛星による超新星残骸 3C397 の精密 X 線分光観測 中嶋大 (関東学院大学)	13:36	Q12a 大マゼラン雲の超新星残骸 N49 に付随する分子雲の Non-LTE 解析 佐野栄俊 (岐阜大学)
10:18	Q05a X 線分光撮像衛星 XRISM による銀河中心超新星残骸 Sgr A East の観測 内山秀樹 (静岡大学)	13:48	Q13a 大マゼラン雲 超新星残骸 N63A に付随する分子雲の観測的研究 浅野裕也 (岐阜大学)
10:30	Q06a 熱的 X 線を用いた超新星残骸 N132D における衝撃波速度の推定 岡田佳純 (青山学院大学/宇宙航空研究開発機構)	14:00	Q14a ALMA による超新星残骸 HESS J1731-347 北部の CO 輝線観測 山中祐里奈 (岐阜大学)
10:42	Q07a X 線画像再合成法と複数観測の最尤法を用いた超新星残骸カシオペア座 A のダイナミクス 酒井優輔 (立教大学)	14:12	Q15a M33 におけるスーパーバブル候補天体の発見 濱田莉来 (岐阜大学)
10:54	Q08a XRISM/Resolve による超新星残骸 Cassiopeia A のドップラー速度測定 鈴木俊輔 (青山学院大学)	14:24	Q16a 超新星残骸 RCW 103 に付随する分子雲の観測的研究 井上陽登 (岐阜大学)
11:06	質疑応答 (10 分)	14:36	Q17b XRISM/Xtend を用いた超新星残骸 Cassiopeia A における鉄族元素組成比の空間変化の測定 市川雄大 (宮崎大学)
		14:36	Q18b 天の川銀河ディスク・ハロー境界領域の GeV-PeV ガンマ線探査と銀河宇宙線の起源・伝搬に対する示唆 井上進 (千葉大学/東京大学)
		14:36	Q19b 大マゼラン雲の超新星残骸 N63A に付随する分子雲における CI/CO 比 泉奈都子 (岐阜大学/国立天文台)
			Q20c 3D Motions of SiO Maser Stars around Sagittarius A* with ALMA Tsuboi, Masato (Meisei University)
		14:48	質疑応答 (10 分)

9 月 12 日（木）午前・B 会場		9 月 12 日（木）午後・B 会場	
09:30	Q21a 超新星残骸 SN 1006 における局所的な磁場増幅の観測的証拠 田尾萌梨（早稲田大学）	13:00	Q31a すざく衛星による銀河系の超巨大バブル構造 島谷侑希（東京理科大学）
09:42	Q22a 効率的な粒子加速現場の特定を目指した XMM-Newton および NuSTAR による超新星残骸 RCW 86 北東部の解析 藤本源（東京大学）	13:12	Q32a X 線精密分光撮像衛星 XRISM による天の川銀河中心領域分子雲の物理状態の制限 成田拓仁（京都大学）
09:54	Q23a Suzaku/XIS による超新星残骸 RX J0852.0-4622 の非熱的放射の方位角変化の起源の検討 立石大（東京大学）	13:24	Q33a X 線天文衛星 XRISM による GCXE 成分の運動測定 青木悠馬（近畿大学）
10:06	Q24a 逃走宇宙線が駆動する流体不安定性について 霜田治朗（東京大学）	13:36	Q34a X線分光撮像衛星 XRISM による天の川銀河の中心領域からの中性鉄輝線の観測 信川久実子（近畿大学）
10:18	Q25a 微視的磁場増幅過程を分解した超新星衝撃波における宇宙線加速シミュレーション 井上剛志（甲南大学）	13:48	Q35a 銀河面からの軟 X 線背景放射 (11) 安福千貴（名古屋大学）
10:30	Q26a Tibet AS γ 実験が検出した拡散ガンマ線の起源に関する考察 加藤勢（東京大学）	14:00	Q36a IXPE 衛星による「かに星雲・パルサー」の長時間観測とその偏光解析 呉屋和保（広島大学）
10:42	Q27a 初期の重力崩壊超新星から生じる高エネルギーガンマ線の CTA による観測可能性の検討 西川智隆（名古屋大学）	14:12	Q37a SED Fitting による SS433 ジェットと相互作用する星間ダストの調査 石川竜巳（名古屋大学）
10:54	Q28a テレスコープアレイ実験による最高エネルギー宇宙線観測と銀河磁場の影響の評価 樋口諒（理化学研究所）	14:24	Q38a マイクロクエーサー 1E 1740.7-2942 に駆動された分子ジェットの発見 竹川俊也（神奈川大学）
11:06	Q29a 因果律を保った高エネルギー宇宙線粒子の伝搬の定式化に向けて 川中宣太（国立天文台/東京都立大学）	14:36	Q39a Three-dimensional gas density distribution using [Ne V] fine-structure lines in the colliding wind binary WR140 松原英雄（宇宙航空研究開発機構）
11:18	Q30a Revisiting the Lunar MeV-GeV Gamma-Ray Spectrum: A New Window For Galactic MeV Cosmic Rays 藤原立貴（大阪大学）	14:48	質疑応答 (10 分)
11:30	質疑応答 (10 分)		

R. 銀河

9 月 13 日 (金) 午前・B 会場		9 月 11 日 (水) 午前・G 会場	
09:30	Q40a Spiral Magnetic Field and Their Role on Accretion Dynamics in the Circumnuclear Disk of Sagittarius A*: Insight from $\lambda = 850 \mu\text{m}$ Polarization Imaging Shinnaga, Hiroko (Kagoshima University)	09:30	R01a 銀河における分子雲衝突の役割とその影響 陳銘崢 (北海道大学)
09:42	Q41a 銀河系中心部で発見された高速度コンパクト雲 CO-0.26+0.02 の観測的研究 周楽涵 (慶應義塾大学)	09:42	R02a 棒渦巻銀河 NGC3627 における銀河の内部構造と分子雲衝突、星形成の関係 2 前田郁弥 (大阪電気通信大学)
09:54	Q42a 銀河系中心部南に存在する X 線ブルームに付随する分子ガスの発見 榎谷玲依 (九州産業大学)	09:54	R03a アンテナ銀河における星形成の多様性と分子雲衝突の関係 井上真
10:06	Q43a MHD シミュレーションデータを用いた銀河系中心部の非回転運動と大局磁場構造の研究 (2): ループ状ガス構造の物理状態 魚住光史 (岐阜大学)	10:06	R04a NGC 253 中心部におけるガスダイナミクスの解明 IV: ガスストリームと高密度クランプ分布の比較 小西諒太郎
10:18	Q44a 広速度幅分子ガス成分 CO 16.134-0.553 周辺における恒星の運動解析 (II) 宇田川賢 (慶應義塾大学)	10:18	R05a 赤外線天文衛星「あかり」で探る星形成銀河における炭化水素ダストの変成 近藤翼 (名古屋大学)
10:30	Q45a マルチガウシアン分解アルゴリズムを用いた HI ガスの相分離 (2)-CNM 相とダスト、CO データとの比較 松月大和 (名古屋大学)	10:30	R06a 中間赤外線を用いた近傍銀河における分子ガス質量の推定 浜田佳澄 (北海道大学)
10:42	Q46a ALMA による母銀河観測で探る I 型 SLSN SN 2017egm の性質 山中逸輝 (東京大学)	10:42	R07a 近傍銀河における分子ガス - 原子ガスの割合を決定する要因について 浜響子 (北海道大学)
10:54	Q47a 星間物質凝集過程に見られる超微細空間構造の分子吸収線観測 中島圭佑 (鹿児島大学)	10:54	R08a 羊毛状渦巻銀河 M33 の渦状腕周辺におけるダイナミクスと分子雲進化 小西亜侑 (大阪公立大学)
11:06	Q48a ASTE 望遠鏡による特異分子雲 Tadpole の CO $J=4-3$, [C] スペクトル線観測 有山諒 (慶應義塾大学)	11:06	R09a 高分散分光観測による銀河系巨大ブラックホール近傍の超巨星の起源の研究 西山正吾 (宮城教育大学)
11:18	Q49a 高速度雲 Smith Cloud のダスト/ガス比 早川貴敬 (名古屋大学)	11:18	R10a Sensitivity Study of Decaying Dark Matter Search with Segue 1 Dwarf Galaxy Zhou, Yu (High Energy Accelerator Research Organization)
11:30	質疑応答 (10 分)	11:30	R11b MOA-II 9-year サンプルを用いた銀河系中心方向のマイクロレンズイベントレイトマップの作成 布田寛介 (大阪大学)

S. 活動銀河核

11:30	R12b	Atacama Compact Array による渦巻銀河 M33 の ^{12}CO , ^{13}CO $J=2-1$ 広域観測 (5) : 高密度ガスの探査 村岡和幸 (大阪公立大学)	9 月 11 日 (水) 午前・C 会場		
11:30	R13b	野辺山 45m 望遠鏡によるエッジオン銀河 NGC4565 の銀河面外分子ガス観測 松坂怜 (東京大学)	09:30	S01a	自転ブラックホールのまわりのアルペン波の 1 次元フォースフリー数値計算 小出眞路 (熊本大学)
	R14c	Trigonometric parallax and proper motion of Sagittarius A* measured by VERA using the new broad-band back-end system OCTAVE-DAS 小山友明 (国立天文台)	09:42	S02a	地平面からジェットへ: ブラックホールを貫く磁束と観測ジェット幅の変動 恒任優 (ハーバード大学)
			09:54	S03a	降着円盤ダイナモの間欠的極性反転 - 磁気再結合とノットの高速放出 森川雅博 (お茶の水女子大学/理化学研究所)
11:42		質疑応答 (10 分)	10:06	S04a	大局的なブラックホール降着流・アウトフローにおける宇宙線加速と高エネルギーニュートリノ放射 川島朋尚 (東京大学)
			10:18	S05a	活動銀河核の宇宙論的進化から探る nHz 背景重力波への超巨大ブラックホール連星の寄与 草壁克典 (大阪大学)
			10:30	S06a	コクーン膨張速度から探る 3C84 ミニジェットパワーの時間変化 川勝望 (呉工業高等専門学校)
			10:42	S07a	活動銀河核 NGC1068 のジェットに付随する 22GHz H_2O メーザー放射と高密度分子ガスの分布 萩原喜昭 (東洋大学)
			10:54	S08a	Cen A core-jet structure from EHT2017 data reanalysis 三好真 (国立天文台)
			11:06	S09a	EHT 1.3mm VLBI 観測による Cent A* 電波源像の検討 - 銀河中心極端 2 重星型超巨大ブラックホール存在の第 4 例 大家寛 (東北大学)
			11:18	S10b	一般相対論的輻射磁気流体力学計算で探る超臨界降着流の大域的ジェット 芳岡尚悟 (京都大学)
			11:18	S11b	磁気流体シミュレーションに基づいた宇宙線伝播計算コードの開発とその初期成果 石崎渉 (東北大学)

S. 活動銀河核

11:18	S12b	NGC 1275 中心 10 pc スケールでの分子ガスアウトフロー検出 小島諒也(東京大学)	14:24	S23a	大口径望遠鏡初号機 LST-1 による活動銀河核の観測：遠方 FSRQ OP313 の VHE ガンマ線放射の発見 Baxter, Joshua Ryo(東京大学)
11:30	S13b	アルマデータを用いた NGC5506 核周領域における多相ガス構造の研究 武知可夏(国際基督教大学)	14:36	S24a	超高光度赤外線銀河 Superantennae 中心核からのミリ波 H ₂ O メーザー放射 今西昌俊(国立天文台)
11:30	S14b	電波銀河 Centaurus A の内側ローブの Herschel による遠赤外線観測 磯部直樹(宇宙航空研究開発機構)	14:48	S25a	Sgr A* の 43GHz 超広帯域モニター観測による星間散乱の効果の制限 小藤由太郎(東京大学)
11:30	S15b	多波長広域観測データに基づく低金属量活動銀河核の探査 松原瑞加(愛媛大学)	15:00	S26a	ALMA による銀河系中心核 Sgr A* の 230 GHz 帯光度の正弦波の変動の検出 柳澤一輝(慶應義塾大学)
11:42		質疑応答(10分)	15:12	S27a	ALMA による近傍セイファート銀河 GRS 1734-292 のミリ波時間変動同定 道山知成(周南公立大学)
9月11日(水) 午後・C会場			15:24		質疑応答(10分)
13:00	S16a	XRISM Observation of Powerful Disk Wind Quasar PDS 456: 2. Initial analysis and results 水本岬希(福岡教育大学)			
13:12	S17a	活動銀河核 PDS 456 のフレアに伴う X 線スペクトルの時間変動の解析 佐藤璃輝(東京大学)			
13:24	S18a	輻射駆動噴水モデルに基づいた X 線スペクトル計算と NGC 3783 への適用 谷本敦(鹿児島大学)			
13:36	S19a	NGC4151 の XRISM 連携可視赤外モニター観測 1. 可視赤外線多波長測光 趙光遠(東京理科大学)			
13:48	S20a	NGC4151 の XRISM 連携可視赤外モニター観測 2. 可視分光 平田悠馬(東京理科大学)			
14:00	S21a	X-WING プロジェクト：1999 年から現在までに検出された $z \sim 0-4$ の全 X 線アウトフローと XRISM が開拓する AGN Feedback の研究 山田智史(理化学研究所)			
14:12	S22a	Chandra による Circinus 銀河中心核周辺における鉄輝線放射の時間変動解析 宮本愛子(大阪大学)			

T. 銀河団

U. 宇宙論

9 月 11 日（水）午前・J 会場			9 月 13 日（金）午前・A 会場		
09:30	T01a	Abell 3376 内の両鎌構造を持つジェットの偏波解析 酒見はる香（山口大学）	09:30	U01a	広天域銀河サーベイにおける銀河の選択効果が銀河クラスタリング解析に及ぼす影響の研究 野瀬観見（東京大学/Kavli IPMU）
09:42	T02a	銀河団外縁部のエントロピー測定における前景放射の影響 2 工藤栞奈子（東京理科大学）	09:42	U02a	すばる HSC-SSP データを用いた $z \sim 4$ の LBG の自己相関関数と CMB レンズシグナルとの相互相関関数による σ_8 への制限 松本明訓（東京大学）
09:54	T03a	X 線天文衛星「すざく」を用いた衝突銀河群探査 原田空凱（名古屋大学）	09:54	U03a	最尤法による銀河・銀河レンズパワースペクトルの推定法とその精度 手良脇大誠（東京大学/Kavli IPMU）
11:42		質疑応答（10 分）※ X10b の講演後	10:06	U04a	キューサー吸収線を使用した $z=0.89$ における宇宙マイクロ波背景放射温度の計測 (II) 小谷竜也（慶應義塾大学）
			10:18	U05a	再電離期以前におけるサブハローガス生存性とその 21cm 吸収線光学的深さへの影響 成瀬元希（名古屋大学）
			10:30	U06a	銀河形成シミュレーションを用いた輝線銀河クラスタリングによる宇宙論 大里健（千葉大学）
			10:42	U07a	すばる PFS 宇宙論における銀河パワースペクトル推定法の開発 中野新太郎（東京大学, Kavli IPMU）
			10:54	U08a	銀河・楕円率相関スペクトルの赤方偏移空間ゆがみと摂動論的理論モデル 樽家篤史（京都大学）
			11:06	U09a	弱重力レンズシミュレーションにおける Super-Sample Covariance が高次統計量に与える影響 常盤晟（東京大学, Kavli IPMU）
			11:18	U10a	スペクトル指数のランニングを考慮したモデルによる銀河弱重力レンズ効果と CMB 弱重力レンズ効果の同時解析 寺澤凌（東京大学/Kavli IPMU）
			11:30	U11b	A New Explanation for Space and Whether It Is Unlimited or Limited Saleh, Gh. (Saleh Research Centre)
			11:42		質疑応答（10 分）

U. 宇宙論

9 月 13 日 (金) 午後・A 会場		15:12	U23a	Proving the Manner of End of the Universe by Using Mathematical and Physical Calculations and the Hubble's Law Saleh, Gh. (Saleh Research Centre)
13:00	U12a			電波銀河を重力源とした CMB 重力レンズ断層化法とその宇宙論的示唆について 新居舜 (名古屋大学)
13:12	U13a	15:24		動径作用変数を用いたダークマターハロー内の幕的密度構造の解析 柄本耀介 (京都大学)
13:24	U14a			冷たい暗黒物質のシェルクロッシング後のダイナミクス 嵯峨承平 (名古屋大学)
13:36	U15a			重力赤方偏移による一般相対性理論検証のための重力ポテンシャル導出手法の開発 田中賢 (京都大学)
13:48	U16a			宇宙の大規模構造から探る原始密度ゆらぎの非等方性：銀河の固有形状による検証精度向上の可能性 湊恵太 (京都大学)
14:00	U17a			将来のパルサータイミングアレイ観測に向けた連続重力波特定手法の開発 古澤和也 (名古屋大学)
14:12	U18a			Dark Quest II: 伝播関数による赤方偏移空間の大スケール揺らぎモデリング 西道啓博 (京都産業大学)
14:24	U19a			Dark Quest II: 宇宙論エミュレータによるハローアセンブリバイアスのモデリング 石川慶太郎 (名古屋大学)
14:36	U20a			Impact of Reionization History on Constraining Primordial Gravitational Waves with Cosmic Microwave Background B-modes Jiang, Hanchun (The University of Tokyo)
14:48	U21a			時間変化を考慮した非等方な宇宙複屈折効果の解析 並河俊弥 (Kavli IPMU)
15:00	U22a			Information content in anisotropic cosmological fields: Impact of different multipole expansion scheme for galaxy density and ellipticity correlations 井上拓也 (国立台湾大学/中央研究院天文及天文物理研究所)

V1. 観測機器 (電波)

9 月 11 日 (水) 午前・F 会場		11:18	V113b JVO 開発状況：野辺山共同利用観測 処理済みデータの配信機能の開発 白崎裕治 (国立天文台)
09:30	V101a テラヘルツ強度干渉計の特徴と将来性 について 松尾 宏 (国立天文台)	11:30	質疑応答 (10 分)
09:42	V102a 強度干渉計の画像合成に向けた極低温 高速読み出し回路の開発 小関知宏 (筑波大学)	9 月 11 日 (水) 午後・F 会場	
09:54	V103a International Mars Ice Mapper 計画を 見据えたテラヘルツヘテロダイン分光 センサーの検討状況 - Measurement Definition Team の議論を踏まえて - 前澤裕之 (大阪公立大学)	13:00	V114a The Next Generation Very Large Array - Autumn 2024 泉拓磨 (国立天文台)
10:06	V104a 月面天文台 TSUKUYOMI の実現に向け た概念設計検討 5 井口聖 (国立天文台)	13:12	V115a ASTE 望遠鏡の運用 (6) 南谷哲宏 (国立天文台)
10:18	V105a 月面天文台 TSUKUYOMI における電圧 増幅システムへの性能要求 松本健 (大阪公立大学)	13:24	V116a 南極 30cm サブミリ波望遠鏡の冬季保 存対策と電力供給システムの開発 中井直正 (関西学院大学)
10:30	V106a 宇宙の暗黒時代における中性水素 21cm 線グローバルシグナルを検出するための 月面電波分光システムに要求する感度 山崎康正 (国立天文台)	13:36	V117a RFSoc 4x2 を用いた 7BEE 受信機用デ ジタル電波分光計の開発 西村淳 (国立天文台)
10:42	V107a SKA プロジェクトへの参加計画 10 赤堀卓也 (国立天文台)	13:48	V118a 光線追跡を用いた 1.85 m 電波望遠鏡 ビーム伝送系の設計 西川悠馬 (大阪公立大学)
10:54	V108a 次世代太陽風観測装置用デジタルマル チビームフォーマの開発 竹原大智 (名古屋大学)	14:00	V119a Update on ALMA Development toward the WSU - Fall 2024 石井峻 (国立天文台)
11:06	V109b 次世代太陽風観測装置用アナログ信号 受信系の開発 渡部温 (名古屋大学)	14:12	V120a ACA システムとバンド 1、4、8、10 受 信機の装置保守の現状 2024B 阪本成一 (国立天文台)
11:06	V110b 次世代太陽風観測装置用フェーズアレ イアンテナ系の開発 加賀尾勇典 (名古屋大学)		V121c ALMA バンド 1 の科学評価活動 永井洋 (国立天文台)
11:06	V111b メートル波帯太陽・惑星電波観測用広 帯域フィードシステムの開発 -III 桑山陽次 (東北大学)	14:24	V122b 広帯域 IF90 度ハイブリッドカプラ及び検 証用回路の設計 手塚愛莉 (電気通信大学)
11:18	V112b 次世代センチ波帯干渉計に向けた超広 帯域クアットリッジアンテナの開発 向井一真 (大阪公立大学)	14:24	V123b Update on ALMA Operations - Fall 2024 深川美里 (国立天文台)
		14:24	V124b 野辺山 45m 鏡の運用状況：2024 年秋 西村淳 (国立天文台)
		14:36	V125b DESHIMA 2.0: 大気吸収補正を考慮した chop-and-nod 法の解析コードの開発 山中珠里 (名古屋大学)

V1. 観測機器

14:36	V126b 超伝導平面集積技術によるミリ波・サブミリ波帯マルチプレクサ回路の開発 中島拓（名古屋大学）	9月12日（木）午前・F会場	
14:36	V127b 局部発振器雑音低減に有効なミリ波帯可変帯域通過フィルタの周波数特性改善 谷川貫太（名古屋大学）	09:30	V131a 岐阜大学 11-m 電波望遠鏡による NH ₃ 輝線マッピング観測の整備状況 杉野裕輝（岐阜大学）
14:48	V128b 南極 30 cm サブミリ波望遠鏡に向けたバックエンドシステムの開発 半田宙也（北海道大学）	09:42	V132a 電波天文用広帯域受信機のための超伝導ヘプタバンド帯域通過フィルタの開発 森田有輝（山梨大学）
14:48	V129b 南極 30 cm サブミリ波望遠鏡用新 IF ボックスの性能評価 山崎豪（筑波大学）	09:54	V133a 広帯域受信機のための高温超伝導マルチバンド帯域阻止フィルタの開発 (1) 末永光（山梨大学）
14:48	V130b 南極 30 cm サブミリ波望遠鏡用新 IF 系の設計 岩田将輝（筑波大学）	10:06	V134a 次世代マイクロ波放射計兼広帯域 VLBI 受信システムの開発 (VI) 氏原秀樹（立命館大学）
15:00	質疑応答 (10 分)	10:18	V135a VERA 水沢搭載用 6-18 GHz 帯広帯域冷却受信機の設計 野原祥吾（山口大学）
			V136c VERA 搭載用 6-18GHz 帯広帯域受信システムの開発 - u-VERA 計画 III 新沼浩太郎（山口大学）
		10:30	V137a VERA86 GHz 帯受信機搭載用の広帯域円偏波分離器の開発 亀山晃（大阪公立大学）
		10:42	V138b 86GHz 帯常温受信機の VERA 石垣局への搭載作業および試験観測の報告 近藤奨紀（大阪公立大学）
		10:42	V139b 大学連携 VLBI 新受信機搭載に向けた偏波変換プログラムの開発 藤巴一航（大阪公立大学）
		10:42	V140b 野辺山 45 m 電波望遠鏡における OCXO を用いた VLBI 実験 今井裕（鹿児島大学）
		10:54	V141b 45m 鏡搭載 Perforated Plate 型 43/86GHz 帯周波数分離フィルターの開発 河本琉風（大阪公立大学）
		10:54	V142b 高萩・日立 32 m 電波望遠鏡の整備・運用状況 2024B 米倉覚則（茨城大学）
		10:54	V143b 岐阜大学 11m 電波望遠鏡の運用状況 -III 村瀬建（岐阜大学）
		11:06	質疑応答 (10 分)

V2. 観測機器 (光赤外・重力波・その他)

9 月 12 日 (木) 午後・F 会場		9 月 11 日 (水) 午後・G 会場	
13:00	V144a マイクロ波背景放射偏光観測宇宙望遠鏡 LiteBIRD 計画の進捗 海老沢研 (宇宙航空研究開発機構)	13:00	V201a Computer-Generated Hologram を用いた軸外し放物面の鏡面精度測定 石川あゆみ (広島大学)
13:12	V145a LiteBIRD 低周波望遠鏡 1/4 スケールモデルの低温近傍界アンテナパターン測定 高倉隼人 (宇宙航空研究開発機構)	13:12	V202a 深層学習による光学系のミスアライメントの数値的予測を用いた光学調整法 橋本遼 (関西学院大学)
13:24	V146a 広視野ミリ波望遠鏡のアンテナパターン測定に向けた位相ステップホログラフィック電場復元法の開発 高橋理音 (東京大学/宇宙航空研究開発機構)	13:24	V203a ガンマ線バースト探査衛星 HiZ-GUNDAM 搭載の可視光・近赤外線望遠鏡開発の現状 津村耕司 (東京都市大学)
13:36	V147a POLARBEAR 実験による大気円偏光の観測 高倉理 (量子場計測システム国際拠点)	13:36	V204a 紫外線宇宙望遠鏡 LOPYUTA 計画の検討状況 土屋史紀 (東北大学)
13:48	V148a CMB 受信機の光学特性測定にむけたフィードバック制御する出力可変な人工較正光源の開発 廣瀬開陽 (横浜国立大学)	13:48	V205a Nancy Grace Roman 宇宙望遠鏡計画: 日本の貢献課題の現状と今後の科学観測 山田亨 (宇宙航空研究開発機構)
14:00	V149a 広帯域ミリ波サブミリ波検出器のための多画素化に適した Magic-T の設計 2 井上修平 (東京大学)	14:00	V206a 高精度位置天文解析手法の開発とシミュレーションによる検証 大澤亮 (国立天文台)
14:12	V150a ミリ波多色 MKID の小型化に向けたオンチップフィルタ回路の設計改良 宇野慎介 (理化学研究所)	14:12	V207a 衛星機搭載予定の国産 InGaAs イメージセンサー小型試作器の性能評価 宮川浩平 (宇宙航空研究開発機構)
14:24	V151a ミリ波多色カメラに向けたオンチップ準集中定数フィルタのスケールモデルの評価 渡邊一輝 (総合研究大学院大学)	14:24	V208a 赤外線位置天文観測衛星 JASMINE のプロジェクト進捗状況 鹿野良平 (国立天文台)
14:36	V152a 100-GHz 帯野辺山 45 m 電波望遠鏡搭載用 LeKID カメラ: 初期観測に向けた実験室での性能評価 石崎悠治 (筑波大学)	14:36	V209a JASMINE 衛星の望遠鏡の安定性の検討 磯部直樹 (宇宙航空研究開発機構)
14:48	V153b 850GHz 帯域用 MKID 開発に向けたダブルスロットアンテナ設計 井上昂 (筑波大学)	14:48	V210b 地球周回スペース位置天文観測における相対論効果 山田良透 (京都大学)
15:00	質疑応答 (10 分)	14:48	V211b 多数枚撮像による高精度星像位置決定の地上実験における実証 矢野太平 (国立天文台)
		14:48	V212b HiZ-GUNDAM 可視光・近赤外線望遠鏡用ケスタープリズムの試作 川端弘治 (広島大学)
		15:00	質疑応答 (10 分)

V2. 観測機器

9月12日(木) 午前・G会場		11:06	V225b 系外惑星の直接観測を目指した連星 Self-Coherent Camera 法の開発 米田謙太(国立天文台)
09:30	V213a 光子計数型可視光システム IMONYにおける新基板システムの開発 佐藤杏樹(山形大学)	11:06	V226b すばる望遠鏡試験観測データによる多素子 Shack-Hartmann 波面センサー波面再構成手法の評価検討 田邊ひより(東北大学)
09:42	V214a SPADイメージセンサーが切り拓く可視光天文観測 酒向重行(東京大学)		V227c ULTIMATE-Subaru: 可変副鏡 大屋真(国立天文台)
09:54	V215a SPADイメージセンサーの実験室性能評価 倉島啓斗(東京大学)		V228c 位相ダイバーシティ法を用いた望遠鏡光学系波面性能の評価について 末松芳法(国立天文台)
10:06	V216a 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡/常設補償光学装置の機器偏光行列決定による偏光分光観測精度の向上 上野悟(京都大学)		V229c 結像および検出過程モデルに基づく天体像回復法の評価と改善 菅尾竜司(北見工業大学)
10:18	V217a 大気擾乱モニターシステム MAMO: 遺伝的アルゴリズムを用いた乱流プロファイルの推定方法と測定精度 小牧誠人(京都産業大学)	11:18	V230b 大フォーマット CMOS センサーを用いた高速広視野カメラの開発 鎌田有紀子(国立天文台)
10:30	V218a 高コントラスト観測法 Coherent Differential Imaging on Speckle Area Nulling (CDI-SAN)の開発 4 米田謙太(国立天文台)	11:30	質疑応答(10分)
10:42	V219a 近紫外線における装置効率を追求した撮像装置の開発と初試験観測 秋田谷洋(千葉工業大学)		
10:54	V220b 東広島天文台における近紫外線波長帯での大気透過率及び空の明るさの測定 諸隈智貴(千葉工業大学)		
10:54	V221b 都心部にある東京都市大学望遠鏡における天文観測システムの構築と観測限界の評価 吉崎謙(東京都市大学)		
10:54	V222b 太陽面ナイフエッジの原理に基づく大気ゆらぎ評価 黒住健吾(北見工業大学)		
	V223c 飛騨天文台補償光学系用の簡便な校正法の開発 照山玄太(北見工業大学)		
11:06	V224b 惑星モニター観測用多層共役補償光学系における補間による反応行列の作成 野田緋奈子(岡山理科大学)		

9 月 12 日（木）午後・G 会場		9 月 13 日（金）午前・G 会場	
13:00	V231a SuMIRe-PFS[41]:PFS 試験観測の進捗報告 森谷友由希（国立天文台）	09:30	V244a 赤外線天文衛星 GREX-PLUS 計画： 進捗報告 2024 秋 井上昭雄（早稲田大学）
13:12	V232a 東京大学アタカマ天文台 TAO 6.5m 望遠 鏡計画 進捗報告 2024 秋 宮田隆志（東京大学）	09:42	V245a 赤外線天文衛星 GREX-PLUS 計画： 衛星システムの検討 山村一誠（宇宙航空研究開発機構）
13:24	V233a TAO6.5m 望遠鏡光学調整用スクリーン カメラの開発 兒玉エ門（東京大学）	09:54	V246a 赤外線天文衛星 GREX-PLUS 計画： 無寒剤極低温冷却システムの検討 II 鈴木仁研（宇宙航空研究開発機構）
13:36	V234a TAO/MIMIZUKU による時間変動観測の ための中間赤外線標準星の探索 小島裕樹（東京大学）	10:06	V247a 赤外線天文衛星 GREX-PLUS 計画： 望遠鏡光学設計検討 橋ヶ谷武志（京都大学）
13:48	V235a 広視野近赤外線望遠鏡 PRIME の進捗 状況 2 鈴木大介（大阪大学）	10:18	V248a GREX-PLUS 中間赤外線高分散分光器： CdZnTe イメージョン・グレーティング搭載 分光系の開発 中川貴雄（宇宙航空研究開発機構）
14:00	V236a Tomo-e Gozen データプラットフォームの開発 瀧田怜（東京大学）	10:30	V249a GREX-PLUS 中間赤外線高分散分光器： 試作分光器の仕様検討 馬場俊介（宇宙航空研究開発機構）
14:12	V237a CIB 観測ロケット実験 CIBER-2：第 3 回打 上げ報告 松浦周二（関西学院大学）	10:42	V250a GREX-PLUS 中間赤外線高分散分光器： 中間赤外線用イメージョン・グレーティン グ材料候補 CdZnTe の吸収係数とその 温度・波長依存性 李源（名古屋大学）
14:24	V238a CIB 観測ロケット実験 CIBER-2: 光学性能 評価 玉井桃子（関西学院大学）	10:54	V251a GREX-PLUS 中間赤外線高分散分光器： CdZnTe の屈折率温度依存性測定 榎木谷海（総合研究大学院大学/宇宙 航空研究開発機構）
14:36	V239b CIB 観測ロケット実験 CIBER-2：感度較 正試験 中畑秀太（関西学院大学）	11:06	V252a GREX-PLUS 中間赤外線高分散分光器： 波面分割型広帯域 FT-IR イメージング 分光器の開発とイメージョングレーティン グ材料の屈折率精密測定への応用 趙彪（名古屋大学）
14:36	V240b 異種金属をコーティングした次世代宇宙 望遠鏡搭載ミラーの冷却次の歪み評価 山下隼人（関西学院大学）	11:18	V253a 将来衛星計画に向けたマイクロミラー技 術による可変 CGH 干渉計の開発 國生拓摩（名古屋大学）
14:36	V241b Daniel K. Inouye Solar Telescope (DKIST) 搭載用近赤外チューナブルフィルターの タイプ選定について 永田伸一（京都大学）	11:30	質疑応答 (10 分)
14:48	V242b The Grand Spherical Telescope Array (GSTA) 西川淳（国立天文台）		
14:48	V243b 近赤外線高分散分光器 SAND のための 大気分散補正光学系の開発 小崎瑛子（名古屋大学）		
15:00	質疑応答 (10 分)		

V3. 観測機器 (X線・ γ 線)

9 月 13 日 (金) 午後・G 会場		9 月 12 日 (木) 午前・H 会場	
13:00	V254a 気象衛星ひまわり 8 号・9 号を用いた 恒星測光における系統的バイアス 谷口大輔 (国立天文台)	09:30	V301a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Resolve の軌道上運用について 内田悠介 (東京理科大学)
13:12	V255a SOLAR-C 観測装置 EUVST 設計・開 発検討の進捗報告 (2024 年秋) 原弘久 (国立天文台)	09:42	V302a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 X 線望 遠鏡 (XMA) 開発の現状 (10) 林多佳由 (UMBC/NASA's GSFC)
13:24	V256a SOLAR-C 搭載超高精度太陽センサ UFSS BBM のリニアリティ誤差評価 近藤勇仁 (東京大学)	09:54	V303a X 線分光撮像衛星 (XRISM) 搭載軟 X 線撮像装置 (Xtend) の軌道上運用 (2) 小林翔悟 (東京理科大学)
13:36	V257a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の現状 鷲見貴生 (国立天文台)	10:06	V304a X線分光撮像衛星 XRISM に搭載された 軟X線撮像検出器 SXI の軌道上エネル ギー較正 中野瑛子 (宮崎大学)
13:48	V258a 次期観測にむけた重力波望遠鏡 KAGRA における迷光対策 II 阿久津智忠 (国立天文台)	10:18	V305a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 軟 X 線 撮像検出器 (SXI) の軌道上における低 エネルギー帯域の検出効率と CCD 素子 へのコンタミ物質の付着の評価 樋口茉由 (東京理科大学)
14:00	V259a 宇宙重力波望遠鏡 DECIGO/B-DECIGO 安東正樹 (東京大学)	10:30	V306a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟 X 線 撮像検出器 SXI の応答関数の軌道上 較正 島耕平 (大阪大学)
14:12	質疑応答 (10 分)	10:42	V307a X 線分光撮像衛星 XRISM の科学運用の 現状 (2) 吉田鉄生 (宇宙航空研究開発機構)
		10:54	V308a X線分光撮像衛星 XRISM の指向精度の 軌道上評価 (2) 金丸善朗 (宇宙航空研究開発機構)
		11:06	V309a X 線分光撮像衛星 XRISM の絶対時刻 精度の軌道上較正 寺田幸功 (埼玉大学/宇宙航空研究開発 機構)
		11:18	V310a X線分光撮像衛星 XRISM用プレパイプ ラインの JAXA スーパーコンピュータシス テムへの移植と初期運用期～PV 期観測 データの再処理 江口智士 (熊本学園大学)
		11:30	質疑応答 (10 分)

9 月 12 日 (木) 午後・H 会場		15:00	V322b CMOS イメージセンサ IU233N5-Z によるシンチレーション光の読み出し 榎木大修 (広島大学)
13:00	V311a X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟 X 線撮像装置 Xtend による突発天体探査(3) 坪井陽子 (中央大学)	15:00	V323b 気球実験用姿勢制御系の基礎開発 I 田淵優 (愛媛大学)
13:12	V312a X 線マイクロカロリメータの次世代読出方式の実証実験と宇宙応用に向けて 山田真也 (立教大学)	15:12	質疑応答 (10 分)
13:24	V313a 超伝導遷移端 X 線検出器 (TES) の多画素読み出し方式に向けた基礎開発 橋本玲華 (立教大学)		
13:36	V314a X 線偏光観測衛星 IXPE の現状 (5) 玉川徹 (理化学研究所)		
13:48	V315a 硬X線集光偏光計 XL-Calibur 気球実験の 2024 年フライトの準備状況 高橋弘充 (広島大学)		
14:00	V316a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 搭載電鍍 X 線望遠鏡の応答関数構築の現状 作田皓基 (名古屋大学)		
14:12	V317a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 による軟 X 線光子計測の初期成果 清水里香 (総合研究大学院大学)		
14:24	V318a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 に搭載した CMOS 検出器のノイズおよびゲインの評価 馬場萌花 (名古屋大学)		
14:36	V319a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光観測ロケット実験 FOXSI-4 による M-Class フレア硬 X 線直接撮像分光観測の実現 南喬博 (東京大学)		
14:48	V320a 超高角度分解能硬 X 線宇宙観測 SuperHERO に向けた 1mm 厚 CdTe 半導体検出器の開発 桂川美穂 (京都大学)		
15:00	V321b ガンマ線バースト観測超小型衛星群 CAMELOT のガンマ線応答関数の構築 横田雅人 (広島大学)		

V3. 観測機器

9 月 13 日（金）午前・H 会場		9 月 13 日（金）午後・H 会場	
09:30	V324a ぎんが衛星搭載全天モニター装置 (Ginga/ASM)のデータ解析ツールの開発 II 北本俊二（立教大学）	13:00	V335a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器 の開発 63:PDD 構造を導入した X 線天文 用 SOI ピクセル検出器のサブピクセルレ ベルの X 線応答特性の評価 志賀文哉（東京理科大学）
09:42	V325a 超小型 X 線衛星 NinjaSat 搭載ガス検出 器の軌道上における応答関数の構築 青山有未来（理化学研究所/東京理科 大学）	13:12	V336a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器 の開発 64: 周辺回路を内蔵した新型 XR- PIX の開発と性能評価 松橋裕洋（東京大学）
09:54	V326a X 線突発天体監視速報衛星こよう搭載 のガンマ線検出器 KGD の軌道上初期 性能評価 高橋直暉（金沢大学）	13:24	V337a X 線高速撮像分光に向けた CCD-CMOS ハイブリッドセンサの開発 高木直矢（関東学院大学）
10:06	V327a 地球磁気圏 X 線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) の現状 VII 沼澤正樹（東京都立大学）	13:36	V338a 国産高角度分解能汎用電鍍 X 線光学 系開発の展望 三石郁之（名古屋大学）
10:18	V328a 超高層大気を観測する ISS 曝露部搭載 X 線カメラの開発状況 黒木瑛介（宮崎大学）	13:48	V339a 国産高角度分解能汎用電鍍 X 線光学 系開発の現状 吉田有佑（名古屋大学）
10:30	V329a GRAMS 計画 13: 液体アルゴンコンプトン カメラ実証機の開発状況 新井翔大（東京大学）	14:00	V340a 高角度分解能汎用 X 線光学系に向けた 光線追跡シミュレータを用いた設計パラ メータの検討 藤井隆登（名古屋大学）
10:42	V330a MeV ガンマ線観測衛星 COSI 搭載 BTO 検出器の信号処理システムの開発 長澤俊作 (SSL/UC Berkeley)	14:12	V341a グラフェン超薄膜を用いた高機能汎用型 光学素子の開発 (3) 多胡諒弥（名古屋大学）
10:54	V331a MeV ガンマ線衛星 AMEGO-X に向けたピ クセルセンサ AstroPix3 の基礎特性評価 仲野悟帆（広島大学）	14:24	V342a NiP 超精密加工を用いた CFRP 製 X 線 望遠鏡の開発 村上海都（大阪大学）
11:06	V332a Recent results from the MAGIC Telescopes Strzys, Marcel C. (The University of Tokyo)	14:36	質疑応答 (10 分)
11:18	V333a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告 (26) 吉越貴紀（東京大学）		
11:30	V334a ALPACA 実験 7: ALPAQUITA 現状報告 2024 大西宗博（東京大学）		
11:42	質疑応答 (10 分)		

W. コンパクト天体

9 月 11 日 (水) 午前・I 会場		11:30	W13b	超臨界降着円盤の歳差運動による光度の時間変動 朝比奈雄太 (筑波大学)
09:30	W01a			Smart Kanata による新星 V4370 Oph 極大前の自動分光観測 植村誠 (広島大学)
		11:42		質疑応答 (10 分)
09:42	W02a	9 月 11 日 (水) 午後・I 会場		
				多色撮像観測による IW And 型矮新星 KIC 9406652 の研究 笠井理香子 (広島大学)
09:54	W03a	13:00	W14a	大質量星内における中性子星への降着流の一般相対論的数値流体計算 櫻井大夕 (早稲田大学)
				連星質量輸送に伴う輻射圧駆動アウトフローの生成 豊内大輔 (大阪大学)
10:06	W04a	13:12	W15a	ジャイアントアウトバースト後の Be/X 線連星 4U 0115+63 における星周円盤の時間変化 西尾美輝 (宮崎大学)
				スリム円盤からの相対論的ジェット放出 井上一 (宇宙航空研究開発機構)
10:18	W05a	13:24	W16a	XRISM 衛星の観測で得られた大質量 X 線連星 Cyg X-3 の星風構造 袴田知宏 (大阪大学)
				X 線分光撮像衛星 XRISM の Xtend による CXOU J174610.8-290019 の観測 吉本愛使 (奈良女子大学)
10:30	W06a	13:36	W17a	星風降着型 X 線連星系における X 線電離による質量降着率の変動 鴈野重之 (九州産業大学)
				XRISM 衛星が捉えた超新星残骸 3C 397 近傍の点源 CXO J190741.2+070650 の再増光 大城勇憲 (東京大学/宇宙航空研究開発機構)
10:42	W07a	13:48	W18a	直線偏光電磁波の電子・陽電子プラズマ中における伝搬過程 岩本昌倫 (京都大学)
				MAXI/GSC が検出した 2024 年度前半の突発現象 根来均 (日本大学)
10:54	W08a	14:00	W19a	相対論的に磁化されたプラズマにおける Alfvén 波の崩壊不安定性 II 石崎渉 (東北大学)
				MAXI が観測した GRB を用いた光度関数の推定 平松裕貴 (青山学院大学)
11:06	W09a	14:12	W20a	マグネター磁気圏における高速電波バーストのパラメトリック崩壊不安定 西浦怜 (京都大学)
				AI による超新星内ニュートリノの Eddington tensor の予測 高橋正大 (東京大学)
11:18	W10b	14:24	W21a	XRISM time-resolved spectroscopy of the transient eclipsing low-mass X-ray binary AX J1745.6-2901 田中虎次郎 (東京都立大学)
				全天 X 線監視装置 MAXI のアーカイブデータを用いた突発天体の系統的調査と光度曲線解析システムの改良 工藤優乃 (日本大学)
11:18	W11b	14:36	W22a	XRISM による低質量 X 線連星 4U1916-054 の観測 米山友景 (中央大学)
				ブラックホール/ディスク系の長周期揺らぎ 中道晶香 (京都産業大学)
11:18	W12b	14:48	W23b	Be/X 線連星パルサー IGR J06074+2205 のノーマルアウトバーストの観測 中島基樹 (日本大学)
				ブラックホールシャドウからブラックホールスピンを推定する機械学習モデルの構築 高橋幹弥 (東京工業高等専門学校)

14:48	W24b	Common Envelope 期における軌道進化に対する恒星内部構造の影響 水谷耕介（大阪大学）	11:18	W35a	降着型パルサー Cen X-3 の連星運動とスピン位相に着目した XRISM 初期観測の解析 永井悠太郎（京都大学）
14:48	W25b	X 線連星 SS433 ジェットの伝播に対する恒星風起源の擾乱の影響 丹海歩（総合研究大学院大学/国立天文台）	11:30		質疑応答（10 分）
15:00		質疑応答（10 分）	9 月 12 日（木）午後・I 会場		
9 月 12 日（木）午前・I 会場			13:00	W36a	NICER を用いた Cyg X-1 の吸収 Dip 観測 藤井大成（立教大学）
09:30	W26a	クォーク・ハドロン連続性を考慮した中性子星の熱的進化 野田常雄（久留米工業大学）	13:12	W37a	ジェット・強磁場降着流ハイブリッド多波長放射モデル：Cygnus X-1 への適用 久世陸（東北大学）
09:42	W27a	マグネター表面の定常放射モデル：時系列データと分光データの一貫性解析 屈楚舒（東京大学）	13:24	W38a	近傍セイファート銀河 GRS 1734-292 の GeV ガンマ線放射への活動銀河核円盤風の寄与 坂井延行（大阪大学）
09:54	W28a	磁気応力による中性子星クラストの破断条件 小島康史（広島大学）	13:36	W39a	NICER による GRS 1915+105 の小規模増光期における鉄吸収線観測 菅原一希（東京理科大学）
10:06	W29a	PSR J1838-0655 に付随するパルサー星雲の X 線スペクトルにおける折れ曲がりの発見と系統調査 本上侑吾（埼玉大学）	13:48	W40a	ブラックホール連星 XTE J1859+226 の 1999-2000 年のアウトバースト進化と準周期的変動 (QPO) との関係 山岡和貴（名古屋大学）
10:18	W30a	Central Compact Object における磁場の起源の解明：超新星爆発時のフォールバック降着流の一般相対論的磁気流体力学計算 井上壮大（大阪大学）	14:00	W41a	IXPE 衛星による恒星質量ブラックホール Swift J1727.8-1613 の準周期的振動 QPO に伴う偏光の変動とその起源について 二之湯開登（東京理科大学）
10:30	W31a	Investigating the high-energy & very-high-energy gamma-rays of the Geminga pulsar with Fermi-LAT & CTAO LST-1 Yeung, Paul K. H. (The University of Tokyo)	14:12	W42a	X 線トランジェント天体 Swift J1727.8-1613 に対する山口干渉計と JVN の観測で得られた強度変動のモデル化によるジェットのパラメーター推定 穂本正徳（山口大学）
10:42	W32a	X 線連星パルサー A 0535+262 の X 線光度と中性子星の自転周期変化率の調査 新居田祐基（愛媛大学）	14:24	W43a	Blandford-Znajek 過程におけるブラックホールの回転エネルギー減少のメカニズムについて 當真賢二（東北大学）
10:54	W33a	XRISM 衛星による X 線連星 Vela X-1 初期観測の鉄輝線の解析 斉藤裕次郎（京都大学）	14:36	W44a	特殊相対論的リーマン問題解法の改善法 2：横成分速度の取り扱い方について 北島歆大（名古屋大学）
11:06	W34a	XRISM/Xtend で捉えた大質量 X 線連星 AX J1910.7+0917 のアウトバースト 善本真梨那（大阪大学）			

14:48	W45a	輻射フィードバックを考慮した連星ブラックホールの軌道進化計算 鈴木智也（京都大学）	9月13日（金）午前・I会場	
15:00	W46a	重力マイクロレンズ法による恒星質量ブラックホールのキック速度への制限 越本直季（大阪大学）	09:30	W48a JWST による銀河観測が与える高赤方偏移ガンマ線バーストへの示唆 松本達矢（京都大学）
	W47c	ブラックホール磁気圏1次元一般相対論的シミュレーション：ガンマ線放射のスピン依存性 金滉基（東北大学）	09:42	W49a ガンマ線バーストの後期ジェットとコウー ン光子による Bulk Compton 放射 松井理輝（東北大学）
15:12		質疑応答（10分）	09:54	W50a Late Engine Activity in Neutron Star Mergers As An Alternative Scenario for the Blue Kilonova HAMIDANI, HAMID (Tohoku University)
			10:06	W51a 輻射輸送シミュレーションと解析的モデル を用いたキロノバ光度曲線の物理的解釈 北村文里（東北大学）
			10:18	W52a キロノバのスペクトルにおけるトリウム の特徴：最も重い元素の同定可能性 土本菜々恵（東北大学）
			10:30	W53a 連星中性子星合体初期の自由中性子 放射における水素ライン吸収の影響 石井彩子（山形大学）
			10:42	W54a 相対論的衝撃と密度塊との相互作用が 駆動する磁気乱流の性質 森川莞地（東京大学）
			10:54	W55a 重力波観測ラン O4b における J-GEM の電磁波対応天体探査 笹田真人（東京工業大学）
			11:06	W56a せいめい望遠鏡 /TriCCS を用いた重力 波天体の追観測用スクリプトの開発 田口健太（京都大学）
			11:18	W57a 重力波イベント S240422ed に対する J-GEM による電磁波対応天体探査 高橋一郎（東京工業大学）
			11:30	質疑応答（10分）

X. 銀河形成

X. 銀河形成・進化

9 月 11 日（水）午前・J 会場			9 月 11 日（水）午後・J 会場		
10:06	X01a	JWST 輝線観測が解剖する原始銀河団に付随する大質量銀河の活動状態 嶋川里澄（早稲田大学）	13:00	X11a	爆発的銀河風で形成される odd radio circle の広帯域非熱的放射とその進化 藤田裕（東京都立大学）
10:18	X02a	$z \sim 2$ の銀河団とその周辺領域における中性水素による Ly α の散乱効果 船木美空（東北大学）	13:12	X12a	Measurement of the Hubble Constant from the Lensed Quasar WGD 2038-4008 Wong, Kenneth (The University of Tokyo)
10:30	X03a	原始銀河団周囲に形成される巨大電離バブルとクラスタリングの影響 矢島秀伸（筑波大学）	13:24	X13a	WDM サブハロー質量関数に対するシミュレーションと準解析的モデルの比較 小野瑞季（北海道大学）
10:42	X04a	原始銀河団 SSA22 に位置する AGN を持つ爆発的星形成銀河の CO 輝線を用いた分子ガスの物理状態診断 岡内紀翔（名古屋大学）	13:36	X14a	AI サロゲートモデルを用いた star-by-star 銀河形成シミュレーションの高速化 平島敬也（東京大学）
10:54	X05a	すばる HSC を用いた $1 < z < 3$ における [OIII] 強輝線銀河の統計的性質 今井聖也（総合研究大学院大学/国立天文台）	13:48	X15a	Population-level inference of dust attenuation properties in local galaxies Cooray, Suchetha (KIPAC/Stanford University)
11:06	X06a	ALMA Lensing Cluster Survey: 輝線銀河のブラインドかつ無バイアス探索 成田佳奈香（東京大学）	14:00	X16a	潮汐相互作用によってトリガーされた大質量星形成：Gaia 衛星の星の固有運動観測による検証 立原研悟（名古屋大学）
11:18	X07a	GALAXY CRUISE: classifying HSC-like mock galaxies from the TNG50 安藤誠（国立天文台）	14:12	X17a	大マゼラン雲における最大級の分子雲複合体の ALMA 観測：銀河間相互作用によって駆動された複数方向からの H I ガス流による誘発的星形成 徳田一起（九州大学/国立天文台）
11:30	X08b	銀河の性質と環境の相互依存性：グラフニューラルネットワークを用いた解析 内田舜也（名古屋大学）	14:24	X18a	大マゼラン雲 N113 における銀河間相互作用によって誘発された巨大分子雲と大質量星の形成 山田麟（名古屋大学）
11:30	X09b	COSMOS 領域における $z=0.7-0.9$ の外側から星形成活動が減衰している銀河の性質 藤本淳也（愛媛大学）	14:36	X19a	大マゼラン雲大質量星形成領域 N44NW に存在する整列したフィラメント状分子雲集団の起源 東野康祐（大阪公立大学）
11:30	X10b	UNIONS データを用いたダストに覆われた銀河の広域探索と多波長 SED 解析 吉田猛人（愛媛大学）	14:48	X20a	eROSITA 衛星を用いた LMC N11 領域の広がった X 線放射の観測的研究 柘植紀節（岐阜大学）
11:42		質疑応答（10 分）	15:00	X21b	銀河の星形成史モデルが SED フィッティングに与える影響の評価 曹愛奈（名古屋大学）

15:00	X22b	Characteristic Mass Scale for the Cusp-Core Transition in Dark Matter Halos 森正夫 (筑波大学)	9 月 12 日 (木) 午後・J 会場	
15:12		質疑応答 (10 分)		
9 月 12 日 (木) 午前・J 会場				
09:30	X23a	HSC-SSP と CHORUS サーベイに基づいた Ly α 輝線銀河の光度関数と空間分布から探る宇宙再電離史 梅田滉也 (東京大学)	13:00	X33a JWST で探る $z=6.6$ の Himiko の性質 清田朋和 (総合研究大学院大学/国立天文台)
09:42	X24a	初代銀河形成シミュレーション: FUV 輻射により誘起されるバースト的星形成 杉村和幸 (北海道大学)	13:12	X34a RIOJA: 赤方偏移 7.9 の原始銀河団 A2744-z7p90D のメンバー銀河の星間媒質 大曾根渉 (筑波大学)
09:54	X25a	JWST で観測された N/O が高い銀河における強い He I 輝線の起源 柳澤広登 (東京大学)	13:24	X35a RIOJA. $z=6.81$ 銀河の JWST+ALMA 解析: 二層電離ガスの存在の示唆 碓氷光崇 (筑波大学)
10:06	X26a	Zackrisson Method を用いた宇宙再電離期銀河からの電離光子脱出率の推定 前原瑚茉 (総合研究大学院大学)	13:36	X36a RIOJA. Complex Dusty Starbursts in a Major Merger B14-65666 at $z=7.15$ 菅原悠馬 (早稲田大学)
10:18	X27a	JWST の Ly α 銀河観測と 21cmFAST で探る宇宙再電離史と電離バブル進化 影浦優太 (東京大学)	13:48	X37a Rotating Disk at $z=10.6$ Revealed by JWST Integral Field Spectroscopy Xu, Yi (The University of Tokyo)
10:30	X28a	高解像度宇宙論的シミュレーションに基づいた準解析的初代星形成モデルの開発 石山智明 (千葉大学)	14:00	X38a Unique Overdensity and Nature of Extreme Emission Line Galaxies at $z \sim 7$ 大工原一貴 (東北大学)
10:42	X29a	スリット分光で探る $z \sim 6$ クエーサー Ly α ハローの光度依存性 星宏樹 (東京大学)	14:12	X39a Radiative-driven dusty outflows by compact $z > 10$ galaxies 仲里佑利奈 (東京大学)
10:54	X30a	赤方偏移と金属量に依存した IMF を用いた高赤方偏移銀河の UV 光度関数 福島啓太 (早稲田大学)	14:24	X40a 高赤方偏移銀河中心における星風由来の金属量汚染 斎藤貴之 (神戸大学)
11:06	X31a	Exploring the faintest end of mid-infrared luminosity functions up to $z \simeq 5$ with the JWST CEERS survey Goto, Tomotsugu (National Tsing Hua University)	14:36	X41a 準解析的銀河形成モデルによる始原的パワースペクトルの違いが銀河形成に与える影響の調査 長船大樹 (北海道大学)
11:18	X32a	MUSE view of outflows and the circumgalactic medium of extremely metal-poor galaxies: project description 日下部晴香 (国立天文台)	14:48	X42b 初代銀河の形成過程における種族 II 星の初期質量関数とその影響 石田怜士 (東北大学)
11:30		質疑応答 (10 分)	14:48	X43b 機械学習による第二世代星の超新星爆発単汚染星の抽出と初代星の性質 石川諒 (東北大学)
				X44c CUDA/HIP/SYCL を用いた direct N -body code の実装と NVIDIA/AMD/Intel 製 GPU 上での性能評価 三木洋平 (東京大学)
			15:00	質疑応答 (10 分)

9 月 13 日（金）午前・J 会場		9 月 13 日（金）午後・J 会場	
09:30	X45a A quiescent galaxy pair at $z=3.44$ in the Cosmic Vine 伊藤慧（東京大学）	13:00	X55a A Pristine Look at Extended Globular Cluster Structures Kuzma, Pete Bryson (NAOJ)
09:42	X46a 高赤方偏移に存在する大質量 Quiescent 銀河の星形成の抑制と周辺環境 柿元拓実（総合研究大学院大学）	13:12	X56a Formation of the Andromeda Giant Southern Stream and Eastern Extent 山口未沙（筑波大学）
09:54	X47a eROSITA/eFEDS X-ray view of WERGS radio galaxies selected by the Subaru/HSC and VLA/FIRST survey 市川幸平（早稲田大学）	13:24	X57a Exploring the origin of the mysterious stellar stream “Leiptr” with Galactic Archaeology 松井瀬奈（名古屋大学）
10:06	X48a eROSITA Detected Radio Quasar Possibly Reaching Super-Eddington Accretion Limit 小淵紗希子（早稲田大学）	13:36	X58a すばる望遠鏡 /Hyper Suprime-Cam で探る M83 恒星ハローの性質 . I. 小上樹（総合研究大学院大学/国立天文台）
10:18	X49a Crimson Behemoth: $z \sim 5$ massive clumpy galaxy hosting X-ray dusty AGN 田中匠（東京大学 /Kavli IPMU）	13:48	質疑応答 (10 分)
10:30	X50a Impact of mergers on star formation and AGN activity in the HSC-SSP Omori, Kiyoaki Christopher (Ehime University)		
10:42	X51a ALMA によるレッドキューサー ($z=6.72$) の [CII] アウトフロー探査 澤村真星（東京大学）		
10:54	X52a 高質量分解能計算で明かす、銀河スケールから銀河中心核への質量輸送機構 油谷直道（鹿児島大学）		
11:06	X53a NASA FIR-Probe 候補 PRIMA の系外銀河サイエンス 稲見華恵（広島大学）		
11:18	X54a 南極 12m テラヘルツ望遠鏡で可能なサイエンスの検討 I 若杉航希（筑波大学）		
11:30	質疑応答 (10 分)		

Y. 天文教育・広報普及・その他

9 月 11 日（水）午前・E 会場		9 月 11 日（水）午後・E 会場	
09:30	Y01a 日本古代中世の地震史料における月の位置の記述 服部健太郎（関西大学）	13:00	Y09a 月の遠隔観測の理科授業への導入 ―東京学芸大学附属小学校での試行授業― 土橋一仁（東京学芸大学）
09:42	Y02a 木村栄の書跡から学ぶ緯度観測所初代所長の地域コミュニケーション術 馬場幸栄（人間文化研究機構）	13:12	Y10a 月のクレーターの深さを求める教材開発と春日部高等学校での教育実践 畑中美里（東京学芸大学）
09:54	Y03a 現代型防災啓発および時代比較対象としての大規模目撃事例の観察：2023 年 12 月および 2024 年 5 月の事例より 玉澤春史（東京大学）	13:24	Y11a 東京学芸大学 40cm 望遠鏡を活用した観測計画立案から始める遠隔天体観測―春日部高等学校での教育実践― 松尾英里子（東京学芸大学）
10:06	Y04a 太陽黒点観測データの「市民科学」的なレスキュー活動とその成果 大西浩次（長野工業高等専門学校）	13:36	Y12a 天体観察支援機能を含む星空シミュレーションアプリ「SORA」の開発と教育利用 縣秀彦（国立天文台）
10:18	Y05a 若手天文教育普及ワーキンググループ（わか天）の活動 II: 若手を対象とした合宿企画の実施 村越麻友（青山学院大学/日本天文教育普及研究会）	13:48	Y13a ICE モデルに基づき設計した大学での反転授業のデジタル Diamond Mandala Matrix を使った実践と分析 青木成一郎（京都情報大学院大学/京都大学）
10:30	Y06a Starformation Boardgame Project(3): 天文学普及ボードゲーム開発の経過報告と参加者の反応分析 三浦飛未来（インター宙ぼレーション）	14:00	Y14a 二年目となる宇宙天気インタプリタ育成カリキュラム開発の状況 野澤恵（茨城大学）
10:42	Y07b Starformation Boardgame Project(4): 複線径路等至性アプローチ (TEA) を参考にしたボードゲーム制作過程の試験的分析 玉澤春史（東京大学）	14:12	Y15b 教員養成系学生を対象としたぐんま天文台 150cm 望遠鏡を用いた観測実習 大朝由美子（埼玉大学）
10:42	Y08b 地域貢献特別支援事業を活用した、大学生・大学院生によるサイエンスコミュニケーション活動の促進と実践 松井瀬奈（名古屋大学）	14:12	Y16b 日本天文学会の規範とハラスメント防止ガイドラインを作ろう 林左絵子（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）
10:54	質疑応答（10 分）	14:24	質疑応答（10 分）

2024 年 8 月 20 日発行

年会実行委員会

委員長	廿日出	文 洋	(国立天文台)	
委 員	和 泉	究	(宇宙航空研究開発機構)	
	泉 拓	磨	(国立天文台)	
	大 澤	亮	(国立天文台)	
	大 屋 瑤	子	(京都大学)	
	大 藪 進	喜	(徳島大学)	
	小 西 美穂	子	(大分大学)	
	佐 藤 寿	紀	(明治大学)	
	庄 田 宗	人	(東京大学)	
	鈴 木 知	治	(中部大学)	
	浅 井	歩	(京都大学)	保育室担当
	市 来 淨	與	(名古屋大学)	保育室担当

年会開催地理事

楠 瀬 正 昭 (関西学院大学)